資料５－２

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　28-29 ページ）

政策名	1　未来を創造する子どもたちのために。（子育て・教育）
施策名	1　妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援

目指す姿

いつでも気軽に相談できる場所があり、地域に見守られ、のびのびと安心して子育てすることができる。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 妊産婦の健康づくりの推進

母子の健康管理をサポートすることで、安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援します。また、不妊・不育症に悩む家族への支援を行います。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①－1	妊娠出産包括支援事業	妊娠・子育て・育児に関する各種相談・訪問・教室等を実施します。また、全妊婦に対して支援プランを作成し、特に支援を必要とされる方には電話支援や個別訪問等を継続して行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）		
プレママ教室（母親教室）参加満足度	%	プレママ教室参加者アンケートで「満足度」を80%以上と回答した人数／全回答者数	98.5	100	100	100	97.6	100			0.0%		健康部 保健センター
産後4か月の時点において香芝市で今後子育てしていきたい人の割合	%	4か月児健診時のアンケート（健やか親子21奈良県統一アンケート）で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人数／全回答者数	96.2	100	100	100	95.7	100			0.0%		健康部 保健センター

② 乳幼児の健康づくりの推進

乳幼児健診、家庭訪問等を実施し、乳幼児にかかる母子の健康づくりを推進するとともに、子育て不安の解消、養育支援、病気や虐待の未然防止、早期発見に努めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②－1	乳幼児健診事業	乳幼児の節目の年齢（4か月・1歳6か月・3歳6か月）において健診を実施し、成長・発達の確認を行います。	●
②－2	乳幼児相談及び教室事業	乳幼児期に関する相談のほか、歯ぴか教室、離乳食教室、子育て交流会等を行います。	●
②－3	こんにちは赤ちゃん事業	生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を助産師等が訪問します。特に支援を必要とされる母子には継続して訪問します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）		
乳幼児健診受診率	%	各健診受診者数／4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳6か月児健診対象者数	97.2	98.2	98.4	98.6	98.1	98.2			0.0%		健康部 保健センター
こんにちは赤ちゃん訪問率	%	訪問世帯数／生後4か月までの子どもがいる世帯数	86.7	100	100	100	99.6	100			0.0%		福祉部 児童福祉課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価：実績と課題	担当課評価（A/B/C）	今後の方向性：3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定：成果の方向性	所管判定：コストの方向性	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①－1	妊娠出産包括支援事業	・こども家庭センターの母子保健と児童福祉の機能を活かし、また、出産・子育て応援事業等を活用しながら、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の強化を図る。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 保健センター
②－1	乳幼児健診事業	・母子保健法に基づく乳幼児健診を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなぐとともに、支援が必要な乳幼児には個別支援を実施する。 ・未受診者の現状を確認し虐待の疑いがある場合は、関係部署と連携する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 保健センター
②－2	乳幼児相談及び教室事業	・専門性を活かした個別支援や、乳幼児の年齢に応じた保護者に対する集団教室を実施することにより、保護者の不安軽減を図る。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 保健センター
②－3	こんにちは赤ちゃん事業	・乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行う。 ・母子の心身の状況や養育環境等の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービスの提供に繋げる。 ・特に養育が必要な家庭や児童虐待のリスクの高い家庭に対して、養育支援訪問に繋ぎ、継続した支援を実施する。 ・訪問拒否の家庭に対して、4か月児健診で家庭の事情を把握する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	福祉部 児童福祉課

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　30-32 ページ）

政策名	1　未来を創造する子どもたちのために。（子育て・教育）
施策名	2　子育て支援の充実

目指す姿

地域の中で、周りの人々に支えられ、喜びや楽しさを感じながら安心して子育てができている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 子育て家庭への支援

子育てに関する経済的・精神的な負担や不安を軽減するために、子育て支援拠点の機能の充実、子育て相談、相互協力の仕組みづくり、情報提供、助言等さまざまな取り組みを推進し、一人ひとりのニーズに合ったサービスにつなげます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	地域子育て支援拠点事業	乳幼児及びその保護者がつどえる場を確保するとともに、育児コーディネーターが巡回し、子育て相談等を行います。また、4か月児への絵本配布（ブックスタート）、相互協力の仕組みづくり（ファミリーサポート）等を行います。	●
①−2	ひとり親家庭相談・支援事業	相談窓口を設置し、助言・支援を行うほか、教育訓練講座の受講及び、資格取得の促進等のための補助を行います。また、自立支援プログラムを策定して、ハローワークと連携し、就労までをサポートします。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	
3つの子育て支援拠点で開催する行事の参加率	%	参加者数／3つの子育て支援拠点で年1回ずつ開催する行事の定員総数	72.5	100	100	100	84.5	100			0.0%	[redacted]	福祉部 児童福祉課
ファミリー・サポート・センター新規登録者数	人	ファミリーサポートセンターの利用会員・サポート会員の新規登録者数	49	50	50	50	61	50			0.0%	[redacted]	福祉部 児童福祉課
自立支援プログラム策定により就労につながった割合	%	就労につながった件数／就労を目標とした自立支援プログラムの策定件数	0	100	100	100	0	100			0.0%	[redacted]	福祉部 児童福祉課

② 児童虐待防止の推進

香芝市要保護児童対策地域協議会が中心となり、関係機関と連携して、児童虐待の未然防止、早期発見に努めます。また、相談窓口について広く周知し、地域全体で児童虐待を見逃さない取り組みを進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	家庭児童相談・支援事業	関係機関連携のもと、支援検討会議等を実施。対象児童の支援プランを作成し、継続した訪問等の支援を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	
児童虐待防止の啓発回数	回	広報誌等による啓発回数	14	15	15	15	27	27			0.0%	[redacted]	福祉部 児童福祉課
児童虐待終結率	%	香芝市要保護児童対策協議会において終結と判断されたケース／虐待として管理しているケース	61	70	70	70	51.5	70			0.0%	[redacted]	福祉部 児童福祉課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
今年度の事業実施計画		実績と課題	担当課評価（A/B/C）	3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定（成果の方向性・コストの方向性）	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①−1	地域子育て支援拠点事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	福祉部 児童福祉課
・つどいの広場で育児コーディネーターによる巡回相談（12回/月）・育児相談を実施する。 ・つどいの広場運営について委託事業者と情報共有等の会議を7月に行う。 ・つどいの広場の利用者数増加の為、イベントをSNS等で周知し・つどいの広場通信を発行し広く市民に周知を図る。 ・子育て支援センターと子育て交流センターおうちのこうえんで毎月1回土曜日開催を実施し、父親の参加の促進を図る。 ・こんにちは赤ちゃん訪問で、"きっきひろば"が開催するベビープログラムの周知を対象の保護者に配付し、教室に参加してもらうことで、仲間作りと親子の絆を深めてもらい、子育て期の孤立と児童虐待の未然防止を図る。 ・つどいの広場イベント行事を年8回開催する。 ・新規サポーターを増やすため、サポーター養成講座を2回開催する。ファミリー・サポートの更なる充実を図るため、自家用車を使用した援助活動を開始する。 ・ファミリー・サポート・センター通信を年2回以上発行し、広く市民に周知を図る。 ・育児アドバイザーが、送迎ルートの確認を行い、安全の確認を行う。 ・子どもの居場所づくり事業「たんぽぽ教室」を毎週土曜日に開催し、生活困窮世帯の子ども及び不登校・引きこもり状態にある子どもに居場所を提供するとともに、学習及び精神面の支援を行う。							
①−2	ひとり親家庭相談・支援事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	福祉部 児童福祉課
・児童扶養手当現況届提出時に就労状況の確認をし、求職中であるなど未就労の場合は、相談支援を行う。また同時期に、アンケート調査を実施し、時給者の生活現状の把握を行う。 ・児童扶養手当現況届提出時にひとり親支援事業についてのチラシを配布し、制度の周知をする。 ・8月9日・27日にひとり親コンシェルジュによる相談・8月22日に女性法律相談（市民協働課と連携）を総合福祉センターで実施・8月15日ひとり親お仕事相談を実施し、ひとり親世帯の支援強化を図る。 ・未就労の方は、自立支援プログラム策定を案内し、就労支援を図る。 ・広報やHPなどでひとり親家庭支援に関する制度の周知、啓発を実施する。（広報紙掲載7月・2月の2回）							
②−1	家庭児童相談・支援事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	福祉部 児童福祉課
・児童虐待防止啓発として、8月に自治会班に対して児童虐待のチラシの回覧を依頼する。 ・11月には『秋のこどもまんなか月間』での児童虐待防止啓発運動として、総合福祉センター及び庁舎、図書館に啓発ブースを設置し児童虐待予防に努める。 ・教職員（新任者向け）に研修会を実施する。 ・広報紙（10月号）に「子育て支援と児童虐待について」の特集を掲載する。 ・要保護児童対策地域協議会の代表者会議：1回/年、実務者会議：1回/4か月、支援検討会議：1回/週を開催し、各支援機関の参加を促し、他機関・多職種連携を図る。 ・4月よりこども家庭センターを設置し、統括支援員が母子保健分野と児童福祉分野を統括し、一体的な支援体制を構築し切れ目ない支援に努める。 ・要支援児童等の対象者にはサポートプラン作成し、支援の明確化を図り、対象者に手交し継続した支援を実施する。 ・2歳児すくすく訪問事業（未就園児等全戸訪問・アウトリーチ支援事業）で家庭訪問を実施し、育児の相談等を行い、支援が必要時は、こども家庭センターと連携する。							

担当課評価		
A	0	事業
B	0	事業
C	0	事業

成果の方向性			コストの方向性		
拡充	0	事業	拡大	0	事業
現状維持	0	事業	現状維持	0	事業
縮小	0	事業	縮小	0	事業
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　33-35 ページ）

政策名	1　未来を創造する子どもたちのために。（子育て・教育）
施策名	3　就学前教育・保育の充実

目指す姿

子どもたちが、安全・安心で健やかに成長することができる環境で充実した教育・保育を受けている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 就学前教育・保育の推進

幼稚園・保育所・認定こども園が連携し、健やかな育ちを保障する質の高い教育・保育を行うとともに、仕事と子育ての両立を支援する保育サービスの充実を図ります。また、今後の子どもの人数の推移に合わせ、効果的・効率的な運営を推進します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	延長保育や預かり保育などの保育サービスの実施、小規模保育施設の新設や市立幼稚園の認定こども園化による保育利用枠の拡大、3年保育の拡充を進めます。また、園庭の開放や未就園児との交流等、地域の子育てをサポートする事業を実施します。	●
①−2	特別保育等補助事業	私立の保育施設が行う園の整備や延長保育・一時預かり・病児保育など多様な保育サービスに対して補助を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	
保育所等の待機児童数	人	4月1日時点の保育所等利用待機児童数（厚生労働省の要領による）	0	0	0	0	0	0			—	[redacted]	福祉部 保育課
保育サービスの実施数	事業	4月1日時点において市立及び私立保育所・幼稚園・認定こども園で実施している延長保育・病児保育・一時預かり事業（一般型／幼稚園型）の数	46	49	51	51	55	55			0.0%	[redacted]	福祉部 保育課
認定こども園の設置数	施設	4月1日時点の市内の認定こども園数（累計）	9	11	12	13	10	11			0.0%	[redacted]	福祉部 保育課

② 就学前教育・保育環境の整備

子どもたちが安全・安心、快適に過ごせるよう、施設の老朽化対策として長寿命化に取り組むほか、時代のニーズに応じて施設全般の環境向上や機能の維持・向上を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を行います。また、状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	
保育所・幼稚園・認定こども園施設の長寿命化	棟	長寿命化改修工事が完了した棟数（令和2年度からの累計）	0	3	5	5	1	3			0.0%	[redacted]	教育部 教育総務課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課評価（A/B/C）	3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定（成果の方向性・コストの方向性）	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①−1	保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	福祉部 保育課 教育部 こども課
	・認定こども園新設に向けた運営事業者の決定 ・延長保育、預かり保育等の保育サービスの実施						
①−2	特別保育等補助事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	福祉部 保育課
	・私立の保育施設が行う施設整備や延長保育・一時預かり・病児保育など多様な保育サービスに対する補助の実施 ・民間保育所等保育士確保対策事業の実施						
②−1	幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	教育部 教育総務課
	・真美ヶ丘保育所長寿命化工事（2カ年） ・保育所トイレ改修工事（五位堂・二上・若葉） ・保育所照明改修工事（五位堂・二上・若葉） ・保育所・幼稚園防犯対策設備改修工事 ・各幼稚園・保育所・認定こども園施設改修工事						

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

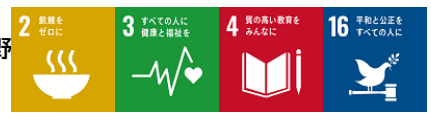
（第5次総合計画 前期基本計画　36-38 ページ）

政策名	1　未来を創造する子どもたちのために。（子育て・教育）
施策名	4　学校教育の充実

目指す姿

すべての児童・生徒が安全に安心して、主体的・対話的で深い学びができる環境が整っている。

SDGs該当分野



施策の主な取り組み

① 学びの推進・支援

一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うことで、学ぶ意欲と確かな学力を身に付け、未来を担う子どもたちを育成します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	学力向上推進事業	知・徳・体のバランスの取れた教育内容（読書活動、外国語教育、道徳教育、体力向上等）の充実を図り、学ぶ楽しさと分かる喜びが実感できる授業の創造に向けて、教職員の資質向上を進めます。	●
①−2	教育相談支援事業	一人ひとりに応じた学習環境（特別支援教育・教育相談）を提供します。また、福祉等の関係機関と連携して、いじめの防止や不登校児童生徒の支援に取り組むなど、きめ細かな教育を進めます。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	
学校に行くのが楽しい子どもの割合	%	全国学力・学習状況調査（文部科学省）で「楽しいと思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した人数／全回答者数（小学校6年生・中学校3年生対象）	84.0	84.4	84.8	85.2	80.9	84.4			0.0%	[redacted]	教育部 学校支援室
国語・算数（数学）の勉強が好きな子どもの割合	%	全国学力・学習状況調査（文部科学省）で「好き」どちらかと言えば好き」と回答した人数／全回答者数（小学校6年生・中学校3年生対象）	62.0	64.0	66.0	68.0	55.6	64.0			0.0%	[redacted]	教育部 学校支援室
国語・算数（数学）の平均正答率	%	全国学力・学習状況調査（文部科学省）で問題に正解した人数／全回答者数（小学校6年生・中学校3年生対象）	65.0	67.0	69.0	71.0	63.0	67.0			0.0%	[redacted]	教育部 学校支援室
児童・生徒のICT活用を指導する能力	%	学校における教育の情報化の実態等に関する調査（文部科学省）で指導する能力4項目に対して「できる」「ややできる」と回答した教員数／全回答者数（市内小中学校教員対象）	56.0	61.0	66.0	67.0	83.4	85.3			−	[redacted]	教育部 学校支援室

② 安心して学べる教育環境の整備

児童生徒が安全で快適に学校生活を送れるよう、学校施設の老朽化対策として長寿命化に取り組むほか、施設全般の環境向上や機能の維持・向上を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	小学校施設維持管理事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を進めるとともにICTを活用し、児童生徒がより主体的・協働的に学習できる環境づくりを進めます。また各小学校施設の状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行い、並行してトイレの洋式化を進めます。	●
②−2	中学校施設維持管理事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を進めるとともにICTを活用し、児童生徒がより主体的・協働的に学習できる環境づくりを進めます。また各中学校施設の状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行い、並行してトイレの洋式化を進めます。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	
小学校・中学校施設の長寿命化	棟	長寿命化改修工事が完了した棟数（令和2年度からの累計）	0	0	10	19	0	0			−	[redacted]	教育部 教育総務課
学校トイレの洋式化	%	トイレの洋式化改修工事が完了した便器数（累計）／改修工事対象便器総数	39.2	68.4	93.0	99.5	67.3	68.4			0.0%	[redacted]	教育部 教育総務課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価（A/B/C）	今後の方向性 3視点 必要性	有効性	効率性	所管判定 成果の方向性	コストの方向性	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	学力向上推進事業	・学校支援室によるアドバイザリー訪問の実施 ・学校支援室による教員研修講座の実施 ・若手教員支援プログラムによる教科指導力、生徒指導力等の充実 ・外国語指導助手による英語教育 ・学校図書の整備及び児童生徒の読書習慣の確立	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	教育部 学校支援室
①−2	教育相談支援事業	・いじめ不登校等対応委員会の開催 ・就学相談及び就学指導委員会の実施 ・スクールカウンセラーの配置 ・不登校児童生徒を対象とした支援スタッフの派遣 ・適応指導教室内に不登校等相談員を配置 ・児童生徒保護者向けに相談窓口案内のチラシを配布	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	教育部 学校支援室
②−1	小学校施設維持管理事業	・二上小学校長寿命化改修工事 ・トイレ改修工事（下田小、五位堂小、三和小、志都美小）（前年度繰越事業） ・鎌田小学校屋根改修工事 ・三和小学校普通教室改修工事 ・各小学校改修工事等	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	教育部 教育総務課
②−2	中学校施設維持管理事業	・香芝東中学校屋内運動場屋根等改修工事 ・各中学校改修工事等	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	教育部 教育総務課

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　39-41　ページ）

政策名	1　未来を創造する子どもたちのために。（子育て・教育）
施策名	5　家庭・地域・学校の連携

目指す姿

地域ぐるみで子どもを育て、教育するという意識が共有されており、地域の大人に見守られて子どもがいきいきと活動している。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 地域ぐるみの子どもの支援

経験や専門性をもった地域の人材の参画を進め、家庭と地域と学校が効果的に連携を取り合い、地域ぐるみの教育力向上に取り組みます。また、児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができるような居場所づくりを進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	学校・地域パートナーシップ事業	既存の地域力を集約し、学校支援につなげる人材としてコーディネーターを配置し、地域ぐるみの学校づくりを行います。また、児童の体験・交流活動を行う放課後子ども教室や、生徒の通常学習の補完的な役割としての学習支援等を行う地域未来塾を実施します。	●
①−2	学童保育運営事業	学童保育所で安定した保育を提供できるよう、指定管理者制度による効果的・効率的な運営を行います。また、保育ニーズに合わせて、小学校の余裕教室等を活用した入所定員枠の拡充を図ります。	●
①−3	学童保育所施設維持管理事業	今後の児童数の増減、多様化するニーズに対応した施設の整備及び維持・管理を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
学校・地域パートナーシップ事業地域ボランティア参加者数	人	学校・地域パートナーシップ事業地域ボランティア年間延べ参加者数	35,695	36,000	38,000	40,000	32,097	36,000			0.0%		まなび推進局 生涯学習課
学童保育所の待機児童数	人	5月1日時点の待機児童数	6	0	0	0	0	0			—		福祉部 保育課

② 青少年の健やかな育成

青少年の社会性の萌芽や新たな気付き、地域の魅力発見につながる機会の創出、また地域・家庭・学校・行政等が連携して青少年の健全育成に資する環境づくりを進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	青少年体験交流事業	子どもフェスティバルのほか、自然体験・生活体験など年間を通じて各種イベント・講座等を開催します。	●
②−2	青少年健全育成事業	下校巡視や市内一斉巡視、店舗等の立ち入り調査を行い、非行の早期発見や犯罪に関わることを未然に防ぐとともに、「少年の主張」作文コンクールの開催やさまざまな媒体を使った広報啓発活動を実施します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
青少年交流事業参加者数	人	子どもフェスティバル及び青少年指導員協議会等による体験学習の参加者数	2,390	2,500	2,500	2,500	3,605	2,500			0.0%		まなび推進局 生涯学習課
「少年の主張」作文参加割合	%	「少年の主張」作文応募者数／対象学年総数（小学校5・6年生及び中学校1・2・3年生）	83.8	84	85	86	81.2	84			0.0%		まなび推進局 生涯学習課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価（A/B/C）	今後の方向性 3視点 必要性	有効性	効率性	所管判定 成果の方向性	コストの方向性	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	学校・地域パートナーシップ事業	・コミュニティ協議会 中学校区コミュニティ協議会に出席し、地域や学校との情報共有を図り、円滑な地域学校協働活動を推進する。（年3回×4中学校） ・地域学校協働活動推進員会議 毎月1回程度定例会議を開催し、地域学校協働活動推進員との情報共有、意見交換を図りながら、地域での活動状況を把握し、円滑な地域学校協働活動を推進する。 ・放課後子ども教室 子どもの居場所づくりや体験活動の機会創出のため、9～2月の間に月2～3回（計12回）の頻度で市内小学校8校において開催。スタッフ募集やスタッフ会議、参加者募集などを図り、子どもたちが安心して、様々な体験を行える環境作りを図る。 ・地域未来塾 市内4中学校において、長期休暇中の学習支援を行う。開催にあたっては、学校やスタッフとの調整を図る。 ・地域学校協働活動に係る研修会 学校関係者・教育委員会関係者に対し、本事業の主旨や内容を把握するための研修会を開催する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	まなび推進局 生涯学習課
①−2	学童保育運営事業	・小学校の余裕教室の活用等による入所定員枠の拡充	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	福祉部 保育課
①−3	学童保育所施設維持管理事業	・真美ヶ丘東第3学童保育所における保育環境整備 ・志都美学童保育所移転に関する施設整備 ・旭ケ丘第1学童保育所の移転の検討	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	福祉部 保育課
②−1	青少年体験交流事業	・子どもフェスティバル 青少年の体験の機会を創出するため、ふれあいフェスタと同日開催（11/3）で、社会教育関係団体と連携のもと、子どもフェスティバルを開催する。事前準備として、内容の調整を図るための会議を3回程度開催。 ・青少年健全育成協議会　体験学習委員　体験学習（共催） 青少年の各種体験の機会を創出するため、年3回程度、野外体験や工作体験の機会を創る。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	まなび推進局 生涯学習課

②−2	青少年健全育成事業						
・定例・祭礼・夜間巡視、県警合同立入調査 青少年の非行防止、被害防止を図るため、祭礼や店舗における夜間巡視、また有害情報の確認のための店舗への立ち入り調査を行う。 ・「少年の主張」作文コンクール、市民集会 市内全学校に対し、秋ごろに少年の主張作文の募集を行い、12/7に市民集会を開催し、少年が社会や未来に対し、意見等の発表を行う機会を設ける。 ・強調月間（7月、11月）啓発活動 青少年の非行防止、被害防止を図るため、各種啓発物品の作成を行い公共機関で配布するとともに、懸垂幕・横断幕等の掲示を行う。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	まなび推進局 生涯学習課

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　42-44 ページ）

政策名	2　健康で自分らしく過ごせる毎日のために。（健康・福祉）
施策名	6　地域福祉の推進

目指す姿

多様な主体による地域福祉活動が活発に取り組まれており、地域で互いに支え合いながら安心して暮らすことができている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 総合的な福祉サービスの提供

市民が必要な情報を取得することができ、また安心して福祉サービスを利用することができるように香芝市総合福祉センターを福祉サービスの総合的な拠点として維持・運営します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	総合福祉センター管理運営事業	総合福祉センター施設の維持管理、貸室（全8室）の利活用の促進、かしば・屯鶴峯温泉の運営を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
総合福祉センター貸室の利用率	%	年間稼働枠数／年間利用可能枠数	50	55	60	65	39	50			0.0%		福祉部 社会福祉課
総合福祉センターサービス提供満足度	%	施設に関するアンケートで「満足」と回答した人数／全回答者数（センター来訪者対象）	－	70	80	90	88	85			0.0%		福祉部 社会福祉課

② 地域で支え合う仕組みづくり

地域住民の交流を促進するとともに、地域福祉を担う団体等を支援することで、地域の多様な主体により生活課題・福祉課題を解決するための支援が包括的に提供される仕組みづくりを進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	地域福祉推進事業	市内各地域にふれあいいきいきサロン等の活動組織を設置します。また、ボランティア活動の推進及び民生委員・児童委員や保護司等の支援を行い、各関係団体、組織間の連携を図ります。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
地域福祉計画目標達成率	%	各事業の評価指数の合計／各事業の評価指数の最大値の合計	70	80	85	90	80	80			0.0%		福祉部 社会福祉課
小地域福祉活動実施地域	%	地域福祉推進委員会又はふれあいいきいきサロンが設置されている地域数（累計）／設置対象地域数（全47地域）	68.0	78.7	89.3	100.0	68	72.0			#####		福祉部 社会福祉課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価（A/B/C）	3視点 必要性	3視点 有効性	3視点 効率性	所管判定 成果の方向性	所管判定 コストの方向性	今後の方向性 方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	総合福祉センター管理運営事業	・会議室等の貸館業務（委託） ・屯鶴峯温泉の運営業務（委託） ・施設設備の維持管理業務	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	福祉部 社会福祉課
②−1	地域福祉推進事業	・社会福祉協議会や各種ボランティア団体との連携による各種イベントの実施（ふれあいフェスタ、ボランティアフェスタ等） ・民生委員向け研修会を通じた周知啓発 ・重層的支援体制整備事業（準備事業）の実施 ・個別避難計画の策定	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	福祉部 社会福祉課

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　45-47 ページ）

政策名	2　健康で自分らしく過ごせる毎日のために。（健康・福祉）
施策名	7　医療提供体制の充実

目指す姿

すべて の世代が、かかりつけ医を持ち、適切な時期に適正な医療を受診することができる。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

①　地域医療体制の充実

市民が必要な時に適切な医療を受けることができるよう、在宅医療の推進、救急医療体制の確保、市医師会・県・近隣市町村等との連携強化を進めます。また、市民への周知・啓発を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①－1	夜間休日応急体制充実事業	葛城地区3市1町と病院で連携し、休日・夜間の診療所運営や二次救急輪番体制実施します。また、救急医療の仕組みやかかりつけ医等に関する啓発活動を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
二次救急の応需率	%	受け入れた件数／受け入れ要請件数	76.0	80	82	84	67.4	80			0.0%		健康部 保健センター
こども救急電話相談（＃8000）の認知度	%	4か月児健診時のアンケート（健やか親子21奈良県統一アンケート）で「知っている」と回答した人数／全回答者数	93.4	95	95	95	95.4	95.5			0.0%		健康部 保健センター

②　感染症対策の推進

感染症の拡大防止と重症化予防のため、各種予防接種の受診の徹底を図ります。また、奈良県や医師会・保健所等の関係機関と連携して新型コロナウイルスを含んだ未知の感染症対策に取り組むとともに、市民に対して社会情勢や環境変化を捉えた啓発を実施します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②－1	予防接種事業	「予防接種法」に基づく定期予防接種（一部、公費負担あり）の実施、未接種者に対する勧奨を行う。また平時から、広報紙等を活用した感染症に関する注意喚起を行います。	●
②－2	感染拡大対策事業	市医師会、北葛城地区医師会（香芝市・葛城市・広陵町・上牧町・王寺町・河合町）との連携会議を開催し、有事の際の対応について情報共有するとともに、その体制を整えます。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
MR（麻疹風疹）の接種率	%	各接種者数／MR1期（1歳児）、MR2期（年長児）接種対象者数	92.5	93	95	97	91.2	93			0.0%		健康部 保健センター
高齢者インフルエンザ予防接種の接種率	%	65歳以上のインフルエンザ予防接種の接種者数／65歳以上の人口	52.2	55	57	59	54.6	55			0.0%		健康部 保健センター

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価（A/B/C）	今後の方向性 3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定（成果の方向性・コストの方向性）	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①－1	夜間休日応急体制充実事業	・市民が必要時に夜間・休日診療所が利用できるよう、広報等により周知を図るとともに、関係機関と連携し診療体制の確保に努める。 ・保健事業の円滑な実施のため「保健事業等に係る香芝市医師会連携会議」及び「医師会幹事会」を開催（概ね年6回）し、医師会との連携・情報共有を図る。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 保健センター
②－1	予防接種事業	・定期予防接種の接種勧奨と確認を行い、接種率の向上を図る。 ・コロナワクチン接種をB類定期接種として、国の指示に基づき実施する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 保健センター
②－2	感染拡大対策事業	・感染症の流行状況を把握し、適正に情報提供を行う。 ・感染拡大を防止する対策を、適切に行う。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 保健センター

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　48-50 ページ）

政策名	2　健康で自分らしく過ごせる毎日のために。（健康・福祉）
施策名	8　健康づくりの推進

目指す姿

健康に関する正しい知識を得て、自らの健康を意識し積極的に健康づくりに取り組んでいる。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

①　健康的な生活習慣の推進

病気の予防、早期発見・早期治療に取り組む等、市民一人ひとりが「自らの健康は自らで守る」という意識を持ち、主体的に健康づくりを進めるために、各種健（検）診・教室・相談・啓発活動の充実を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	がん検診事業	定期的にがん検診を受けられるよう集団がん検診の実施に加え、検診費用の補助を行います。また、検診の重要性について啓発を行い、がんの早期発見に努めます。	●
①−2	健康づくりに関する教育事業	健康づくり教室、講演会、健康相談等を実施します。また、健康ボランティアを育成し、地域で健康づくりのための体操や知識の普及活動等を行う取り組みを進めます。	●
①−3	医療費適正化事業	40歳以上の国民健康保険被保険者を対象に、特定健康診査及び特定保健指導を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	担当所管
5大がん検診受診者数	人	5大がん検診の受診者数	6,034	6,200	6,400	6,600	6,302	6,400			0.0%	健康部 保健センター
特定健康診査受診率	%	特定健診実施者／特定健診受診対象者	35.6	60	60	60	33.8	60			0.0%	健康部 国保医療課

②　心の健康づくりの推進

生きづらさを感じているかたが、心の健康相談や臨床心理士によるカウンセリング、発達相談を受けることができる環境を整え、自殺予防対策やメンタルヘルス支援を行い、精神的に安定した生活ができるよう支援します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	精神保健事業	臨床心理士によるカウンセリング、心理検査等を受けることのできる専用窓口を設けます。また、心の健康に関する講演会の開催、ゲートキーパーの育成を行います。	●
②−2	子ども・若者相談支援事業	15歳から概ね39歳までを対象に、自立支援に関する相談窓口を設け、支援します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	担当所管
自殺死亡率の減少	—	人口10万人当たりの自殺者数（暦年単位）	13.4	11.4	10.2	9.0	15.2	11.4			670.0%	健康部 保健センター
子ども・若者相談支援件数	件	相談件数	49	60	70	80	32	35			0.0%	福祉部 児童福祉課

③　望ましい食生活の定着推進

食生活と栄養についての知識の普及を進め、健全な食生活を実践できる習慣を身に付けることができるようにします。また、学校給食への地元食材の使用、料理教室等の開催を通じて、子どものころから「食」について考える環境づくりを進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③−1	食育推進事業	離乳食教室、乳幼児栄養相談等の各種教室及び栄養指導の実施、食生活等に関する講演会の開催を行います。また、夏休みを利用して子ども向けの料理教室等を開催します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	担当所管
食に関する教室の参加率	%	参加者数／離乳食・食生活・料理講習会等の定員総数	57	65	70	75	48.1	65			0.0%	健康部 保健センター
食事バランスが取れている人の割合	%	食育調査で「1日2回以上食事をとり、主食＋主菜＋副菜を食べる」と回答した人数／全回答者数（20歳以上の市民の方対象）	41.4	55	60	70	—	55			0.0%	健康部 保健センター

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価（A/B/C）	今後の方向性 3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定 成果の方向性	所管判定 コストの方向性	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	がん検診事業	・がん検診を実施する。 ・がん検診受診率向上を図る。 ・集団がん検診における事務の効率化や市民の利便性を高める。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 保健センター
①−2	健康づくりに関する教育事業	・健康づくりに関する教室や講演会を実施する。 ・健康づくりボランティアを育成及び養成する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 保健センター
①−3	医療費適正化事業	・受診率向上に実績のある「受診費用の無料化」及び「人間ドック・脳ドック費用助成」を継続して実施。 ・被保険者の健康意識・受診意欲に直接働きかけるため、被保険者参加型ヘルスアップ事業を展開し、対面での受診勧奨を実施。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 国保医療課
②−1	精神保健事業	・第2次香芝市自殺対策計画の進捗管理を行い、自殺対策連携会議を実施する。 ・第2次香芝市自殺対策計画に基づき、臨床心理事業、自殺対策や心の健康増進に関する啓発により、心の健康づくり及び自殺予防の推進を図る。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 保健センター

②−2	子ども・若者相談支援事業 ・令和6年4月1日より、香芝市こども家庭センターを開設し相談支援を行うが、相談内容によっては、相談者の同意の下、香芝市福祉総合相談窓口(担当課:社会福祉課、委託先:香芝市社会福祉協議会、香芝市福祉総合相談窓口の開設は令和6年6月1日より)に繋げ、総合的な支援体制を図る。 ・義務教育課程を修了後の相談窓口(香芝市福祉総合相談窓口)の周知として、香芝市立中学校3年生に相談窓口のチラシを卒業式前に配布する。また、市内居宅介護支援事業所に相談窓口チラシデータを送信し、介護支援専門員への周知を図る。市民への周知啓発として、自治会に相談窓口の周知チラシの回覧を行う。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	福祉部 児童福祉課
③−1	食育推進事業 ・減塩対策の充実・野菜摂取量の増加のため、成人を対象とした教室を実施する。 ・離乳食教室の内容の充実を図り、育児不安の軽減に繋げる。 ・食生活改善に関するボランティアを増員するため、養成講座を実施する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 保健センター

施策の方向性(改善策)

担当課評価	

成果の方向性		コストの方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　51-53　ページ）

政策名	2　健康で自分らしく過ごせる毎日のために。（健康・福祉）
施策名	9　高齢者福祉の充実

目指す姿

地域全体での支え合いの意識が浸透し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して生活できている。

SDGs該当分野

3 すべての人に健康と福祉を　5 ジェンダー平等を実現しよう　10 人や国の不平等をなくそう　11 住み続けられるまちづくりを　16 平和と公正をすべての人に

施策の主な取り組み

① 自立支援・介護予防・重度化防止の推進

高齢者が生き生きと自立した生活が送れるよう、地域のニーズや課題、活用できる社会資源を把握し、自立支援・介護予防・重度化防止に向けた各種サービスを展開します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	介護予防・日常生活支援総合事業	掃除や買い物等の日常生活支援、運動教室や栄養・口腔機能指導等の介護予防サービス等に加え、地域における通いの場の創出、介護予防に関するボランティアの育成等の助け合い・支え合いの仕組みづくりを推進します。また、事業所等の専門職が行うサービスに加え、地域住民や企業等の多様な主体によるサービスも提供できるよう展開していきます。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（当該年度比）	[redacted]	担当所管
地域活動による『通いの場』の設置割合	%	「いきいき百歳体操」が行われた地域数／設置対象地域数（全50地域）	30.0	84.0	94.0	100.0	52.0	84.0			0.0%		健康部 介護福祉課

② 日常生活を支援する体制の整備

地域包括支援センターの機能を強化するとともに、地域住民や事業者等の協力も得ながら、高齢者の安全で安心な日常生活が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の強化を進め、介護等が必要になっても住み慣れた地域で過ごすことができる仕組みづくりを推進します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	高齢者のための支援体制整備事業	高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの機能強化を図ります。介護を必要とする人の家族に対する支援、また、医療・介護サービス事業者等との連携強化等を行い、包括的に支援できる体制を充実させます。認知症の方に対する支援、高齢者の権利擁護及び虐待防止対策等高齢者の安全・安心につながる支援を行います。	●
②−2	介護予防支援事業	地域包括支援センターで、要支援者等の認定を持つ方が、必要な介護サービス等を受けられるよう支援します。	●
②−3	生きがい対策事業	長寿を祝うイベント、事業を実施し、高齢者の社会参加を促進し、生きがいのある暮らしの支援を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
地域で孤立せず生活できている高齢者の割合	%	介護保険意向調査で「心配事や愚痴を聞いてくれる人が1人以上いる」と回答した人数／全回答者数（65歳以上の市民の方対象）	89.1	89.5	90	90.5	89.7	89.5			0.0%		健康部 介護福祉課
認知症サポーター養成人数	人	認知症サポーター養成講座に参加した人数（平成22年度からの累計）	3,843	4,800	5,600	6,400	4,738	4,800			-401.6%		健康部 介護福祉課

③ 介護保険給付の適正化

介護給付費の適正化に取り組み、介護保険制度の財政的な健全性を確保し、安定的な運営を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③−1	介護保険給付適正化事業	給付の現状分析、ケアプラン点検及び介護サービス事業所に対する実地指導を行います。	—

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
居宅サービス費（1人当たりの給付額）	円/月	居宅サービスに係る給付費を利用者数で除した金額	104,141	110,000	110,000	110,000	102,343	110,000			200.0%		健康部 介護福祉課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価（A/B/C）	今後の方向性 3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定 成果の方向性	所管判定 コストの方向性	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	介護予防・日常生活支援総合事業	・通所型短期集中サービス利用者が、介護サービスから地域における通いの場等へ移行できるよう支援する。 ・4月～5月を、地域における通いの場である「いきいき百歳体操」の推進月間とし、体験説明会を8回実施する。 ・介護予防・ボランティアポイント事業を実施し、「いきいき百歳体操」について啓発し、新規立ち上げ箇所を増やす。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 介護福祉課
	高齢者のための支援体制整備事業	・認知症高齢者の徘徊等による行方不明時に、早期発見や保護に繋げるため、高齢者見守り事前登録事業を推進する。（利用者の増加等） ・市民への認知症についての理解を深めるため、認知症サポーター養成講座を実施する。また、チームオレンジの継続した活動を支援するとともに、新たな活動者を要請するための講座等を実施する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 介護福祉課
②−2	介護予防支援事業	・介護支援専門員が自立支援と重度化防止を目的に、介護予防支援のケアマネジメント（利用者宅訪問、アセスメント、サービス計画原案作成、モニタリング）を適正に実施できるよう、ケアマネジャーを対象に研修会等を実施する。 ・要支援者の自立支援を継続して実施するために、自立支援型地域ケア会議（年6回）を開催し、専門職による助言や、地域における資源について検討する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 介護福祉課
②−3	生きがい対策事業	・ふたかみクラブ連合会が行う健康づくり・介護予防支援事業を支援することで、老人クラブの活性化を図り、高齢者の生きがいづくりを推進する。 ・シニア健康祭を開催し、高齢者自らの社会参加、健康管理・介護予防意識の向上を図る。 ・加齢性難聴の高齢者を対象に、積極的な社会参加及び地域交流の促進等を図るために補聴器購入費の一部を助成する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 介護福祉課
③−1	介護保険給付適正化事業	・給付費の適正化を目的とし、ケアプラン点検（ケアプランの点検及び例外給付等600件）及び実地指導、縦覧点検・医療情報との突合を行う。 ・要介護認定の適正化を目的として、調査票と主治医意見書の点検および審査会の合議体の平準化を図る。 ・国保連合会および適正化システムのデータ等を活用し、効率的に適正化事業を実施する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 介護福祉課

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　54-56 ページ）

政策名	2　健康で自分らしく過ごせる毎日のために。（健康・福祉）
施策名	10　障がい者福祉の充実

目指す姿

障がい者がその有する能力及び適性に応じ、自立した生活を営み、自分らしく生き生きと安心して暮らすことができている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 障がい者が地域で安心して暮らせる仕組みづくり

障がい者が安全・安心な環境のもと、自立した生活ができるよう、基盤整備を進めるとともに、障がい者の日常生活及び社会生活におけるニーズに対応した細やかなサービスを展開します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	地域生活支援事業	総合的な相談支援をはじめ、日常生活用具の給付や入浴、移動等日常生活における支援や意思疎通支援者の派遣等によるコミュニケーションや情報取得に関する支援を行います。また、障がい者の社会参加に対する支援や職業訓練に要する費用の助成を行うなど、障がい者の地域における日常生活や社会生活のニーズに対応した福祉サービスの提供を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	
意思疎通支援事業の登録者数	人	香芝市意思疎通支援者名簿（手話通訳・要約筆記）に登録されている人数（累計）	33	35	37	40	34	35			#####	[redacted]	福祉部 社会福祉課
手話奉仕員の養成人数	人	手話奉仕員養成講座を受講した延べ人数（平成14年度からの延べ人数）	500	550	600	650	572	550			#####	[redacted]	福祉部 社会福祉課
障がい者の職場体験受け入れ人数	人	市が職場体験として受け入れた人数	4	8	12	16	3	8			0.0%	[redacted]	福祉部 社会福祉課
優先調達金額	千円	障がい者就労施設等からの物品等の調達金額	498	600	700	800	500	600			0.0%	[redacted]	福祉部 社会福祉課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
今年度の事業実施計画		実績と課題	担当課評価（A/B/C）	3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定（成果の方向性・コストの方向性）	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①−1	地域生活支援事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	福祉部 社会福祉課
・障がい児・者の日常生活支援（相談支援事業、成年後見制度利用支援事業、移動支援事業、日中一時支援事業、日常生活用具給付事業、意思疎通支援事業、福祉ホーム助成事業など） ・障がい者の社会参加促進（手話奉仕員、視覚障がい者及び聞こえのサポーターの養成事業、障がい児・者ふれあいの集い事業） ・精神障害者医療費助成（精神障害者保健福祉手帳1、2級所持者に対する医療費助成）							

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　57-58 ページ）

政策名	2　健康で自分らしく過ごせる毎日のために。（健康・福祉）
施策名	11　生活困窮者支援の充実

目指す姿

生活困窮者が各自の能力を活か しながら、経済的・精神的に自立できる社会

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 生活困窮者への相談支援・就労支援の充実

生活困窮者を自立へとつなげていくために、包括的・継続的な助言・支援を受けることができる相談体制の充実を図るとともに、制度の周知を進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	自立支援促進事業	生活困窮者が自立した生活を営むことができるよう、助言・支援を行うほか、個別支援プログラムの作成やハローワークとの連携等により就労支援を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値		
			（R1）	R6	R10	R14
支援プラン策定により就労につながった割合	%	就労につながった件数／一般就労を目標とした支援プランの策定件数	75	80	85	90

前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	
100	100			0.0%	[redacted]	福祉部 生活支援課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
今年度の事業実施計画		実績と課題	担当課評価（A/B/C）	3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定（成果の方向性・コストの方向性）	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①−1	自立支援促進事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	福祉部 生活支援課
・相談窓口の開設 ・生活困窮者の就労支援 ・生活保護受給者の就労支援 ・生活困窮者に対する住居確保給付金の支給							

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　59-61　ページ）

政策名	3　誰もが等しく、生涯輝き続けるために。（人権・協働・文化）
施策名	12　人権・多様性の尊重

目指す姿

誰もが個人として等しく尊重され、自らの意思によって個性と能力を発揮できる社会が実現している。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 人権啓発の推進と学習機会の提供

人権に関する啓発活動や学習機会の提供を通じて、市民の人権への理解や認識の向上を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	人権啓発事業	香芝市人権教育推進協議会や各種団体と連携し、広報活動やセミナー等を開催し、市民へ人権に関する正しい知識や情報を提供します。	—

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
市民集会参加者数	人	「人権を考える香芝市民集会」の参加者数	150	180	220	250	150	180			0.0%		市民環境部 市民協働課
人権啓発事業認知度	%	人権に関する市民アンケートで「市が実施する人権啓発事業を知っている」と回答した人数／全回答者数（事業参加者対象）	64	70	80	90	62.9	70			0.0%		市民環境部 市民協働課

② 男女共同参画によるまちづくりの推進

男女共同参画に関する啓発活動や学習機会の提供を通じて、市民の男女共同参画意識のさらなる醸成・高揚を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	男女共同参画推進事業	男女共同参画社会への理解を深めるため、父子を対象とした体験型の講習会の実施や市民を対象とした学習会等を開催します。また、関係機関と連携し、女性の就労支援に係るセミナーの実施や相談窓口を開設します。多様な視点を政策方針に取り入れるため、市の審議会への女性登用を促します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
市職員の管理職に占める女性割合	%	市職員の女性管理職数／市職員の管理職数	29.7	30	30	30	37.3	30			0.0%		市民環境部 市民協働課
市の審議会への女性委員登用率	%	審議会等における女性委員数／審議会等における委員数	26.4	30	30	30	26.1	30			0.0%		市民環境部 市民協働課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価（A/B/C）	3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定 成果の方向性	所管判定 コストの方向性	今後の方向性 方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	人権啓発事業	・くらしを考える講座の開催（市民集会を含む年6回を予定） ・市民集会の開催（7月開催予定） ・人権啓発パネル展の開催（7月開催予定）	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	市民環境部 市民協働課
②−1	男女共同参画推進事業	・男性いきいきセミナーの実施（年2回を予定） ・マザーズセミナーの実施（年2回を予定） ・男女共同参画推進委員会の実施（年2回を予定）	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	市民環境部 市民協働課

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　62-63 ページ）

政策名	3　誰もが等しく、生涯輝き続けるために。（人権・協働・文化）
施策名	13　地域コミュニティの醸成・活性化

目指す姿

市民一人ひとりが「まちの担い手は自分自身」という自治意識を持ち、市民みんなが地域に誇りと愛着を持っている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

①　自治会活動の支援

円滑な自治振興の実現のため、地域コミュニティの核である自治会の安定的な運営を支援します。また、自治会の協力のもと、地域の安全安心に関わる設備等の設置を促進します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	自治会活動支援事業	自治会活動や防犯カメラ・防犯灯等の設備の整備に対して、補助金の交付等の支援を行います。また、自治会及び自治連合会と連携し、自治会未加入者への加入促進を図るとともに、自治会と各種地域団体の連携を促進し、地域活動の活性化を図ります。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
自治会加入率	%	自治会加入世帯数／4月1日時点の世帯数	87.2	88	90	92	83.5	88.0			0.0%		市民環境部 市民協働課
自治連合会と地域団体との協働事業実施回数	回	自治連合会と地域団体との協働事業実施回数	0	1	2	3	0	1			0.0%		市民環境部 市民協働課

②　市民公益活動団体の支援

ボランティアやNPO等の市民公益活動団体の地域での活動を支援することで、地域の活性化を促進します。また、市民公益活動団体同士が繋がり、発展できるように、コーディネーターの役割を担います。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	市民公益活動団体支援事業	市民公益活動団体の活動に対して、補助金の交付等の支援を行います。また、活動報告会や市民主体のイベントを実施することで、団体同士のつながりや市民や市内事業者等、あらゆる主体との相互交流の機会を設け、市民活動のさらなる活性化を図ります。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
まちづくり提案活動支援事業補助金申請件数	件	まちづくり提案活動支援事業補助金の申請件数	19	25	25	30	20	25			0.0%		市民環境部 市民協働課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	今年度の事業評価 担当課評価（A/B/C）	今後の方向性 3視点 必要性	3視点 有効性	3視点 効率性	所管判定 成果の方向性	所管判定 コストの方向性	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	自治会活動支援事業	・転入者に自治会加入促進パンフレットの配布 ・自治会活動及び自治会が設置する防犯灯・防犯カメラ・通信設備・集会所への補助 ・自治連合会と地域団体との協働事業に係る実施方法の調査・検討	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	市民環境部 市民協働課
②−1	市民公益活動団体支援事業	・まちづくり提案活動支援事業補助金事業の実施 ・補助金申請の説明会の実施 ・スキルアップセミナーの開催（年2回を予定）	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	市民環境部 市民協働課

担当課評価		
A	0	事業
B	0	事業
C	0	事業

成果の方向性			コストの方向性		
拡充	0	事業	拡大	0	事業
現状維持	0	事業	現状維持	0	事業
縮小	0	事業	縮小	0	事業
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　64-65 ページ）

政策名	3　誰もが等しく、生涯輝き続けるために。（人権・協働・文化）
施策名	14　文化芸術の振興・多文化共生

目指す姿

多種多様な文化活動が活発に行われ、さまざまな文化が共生する、個性豊かなまちが形成されている。

SDGs該当分野

4 質の高い教育をみんなに　10 人や国の不平等をなくそう　17 パートナーシップで目標を達成しよう

施策の主な取り組み

① 文化の発信・創造・交流の支援

多くの市民がさまざまな文化に触れ、多様な見識や価値観を養うことのできる機会を創出します。また、市民の自主的・創造的な文化活動を支援し、文化振興につなげます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	文化施設管理・運営事業	指定管理者制度による文化施設の維持管理を行い、効率的な運営体制を構築します。また、施設の機能性の向上やイベント開催を通じて、市民の文化活動を促進します。	●
①−2	地域交流センター管理・運営事業	指定管理者制度による地域交流センターの維持管理を行い、効率的な運営体制を構築します。また、施設の機能性の向上やイベント開催を通じて、地域での市民交流を活発化します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	
ふたかみ文化センター稼働率	%	年間稼働枠数／年間利用可能枠数	44.2	45	48	50	38.8	45			0.0%	[redacted]	まなび推進局 生涯学習課
ふたかみ文化センター利用者数	人	ふたかみ文化センターの利用者数	89,790	97,000	105,000	108,000	72,988	97,000			0.0%	[redacted]	まなび推進局 生涯学習課
地域交流センター稼働率	%	年間稼働枠数／年間利用可能枠数	23.6	25	30	35	28.0	29			0.0%	[redacted]	市民環境部 市民協働課
地域交流センター利用者数	人	地域交流センターの利用者数	48,620	55,000	66,000	77,000	54,600	55,000			0.0%	[redacted]	市民環境部 市民協働課

② 多文化理解と国際交流の推進

国際理解を通じて、さまざまな文化の在り方や考え方、価値観、感じ方の違いを認め合える風土を醸成します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	文化・国際交流活動事業	国際交流活動を行っている市民、地域団体、事業者等と連携し、セミナーやイベント等を開催します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	
国際交流事業実施回数	回	国際交流事業の実施回数	2	3	4	4	4	3			0.0%	[redacted]	市民環境部 市民協働課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課評価（A/B/C）	3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定（成果の方向性・コストの方向性）	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①−1	文化施設管理・運営事業 ・指定管理者による施設の運営、維持管理 ふたかみ文化センターが市民にとって利便性の高い施設であるように、指定管理者との情報共有等を図り、随時市民への対応や維持管理に対応する。 ・施設の利用促進 施設の利便性向上を図り、稼働率向上を図るため、広報等により施設の利用促進を図る。 ・施設の改修、備品購入 照明設備LED化改修のための設計、工事を実施。市民の利便性を損なわないよう、計画的に実施。また市民ホールのプロジェクター、有孔ボード、電話交換器の更新を行う。 ・かしばアートweeeeek（美術展覧会） 毎年開催している市美術展に加え、指定管理者とも協働し、文化芸術の機会に触れるイベントを10-11月頃に開催する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	まなび推進局 生涯学習課
①−2	地域交流センター管理・運営事業 ・指定管理者による施設の運営、維持管理 （指定管理者：白鳳台自治会（令和5年度～9年度）） ・指定管理者による施設の利用促進 （指定管理者自主事業として、いきいき百歳体操等を実施予定） ・避難器具等設置工事（予定） （2階共用部に避難口及び避難階段、1階集会室に避難口を設置）	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	市民環境部 市民協働課
②−1	文化・国際交流活動事業 ・国際交流セミナーの開催（年2回を予定）	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	市民環境部 市民協働課

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　66-68 ページ）

政策名	3　誰もが等しく、生涯輝き続けるために。（人権・協働・文化）
施策名	15　生涯学習とスポーツ活動の充実

目指す姿

いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境が整っている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

①　生涯学習機会の充実

「いつでも、どこでも、誰でも」学べる生涯学習社会の実現に向けて、多様な講座を開催するなど学習できる機会と場の充実を図るとともに、成果を生かせる場づくりを行います。併せて生涯学習関係団体の育成・交流を促進します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	生涯学習機会提供事業	美術展覧会、生涯学習講演会等の各種講座を開催します。また、生涯学習関係団体の育成・交流の環境づくりを行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
中央公民館利用率	%	年間稼働枠数／年間利用可能枠数	32.2	35	35	35	28	35			0.0%		教育部 生涯学習課
中央公民館利用者数	人	中央公民館の利用者数	69,098	70,000	72,000	74,000	50,457	70,000			0.0%		教育部 生涯学習課

②　スポーツ活動の充実

地域のスポーツ・レクリエーション関係団体等の多様な主体と協働し、スポーツできる機会と場の充実を図るとともに、総合体育館、健民グラウンド等のスポーツ施設の利用を促進します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	スポーツ活動支援事業	さまざまなスポーツ・レクリエーション教室、イベント等を通年、開催します。また、研修会等の開催によりスポーツ・レクリエーション関係団体の育成を支援します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
社会体育施設利用率	%	年間稼働枠数／年間利用可能枠数	48.7	51	51	51	54.3	51			0.0%		まなび推進局 生涯学習課
社会体育施設利用者数	人	社会体育施設の利用者数	181,146	220,000	230,000	240,000	229,940	220,000			0.0%		まなび推進局 生涯学習課

③　図書館機能の充実

市民が幅広い知識や情報を得て、心豊かでいきいきとした人生を送るため、図書館資料や情報の提供だけでなく、学習や活動の場の提供等も行いながら、読書の普及啓発と図書館の利用促進を図り、地域の拠点となる図書館づくりを進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③−1	資料情報提供事業	図書・視聴覚資料等の資料や情報を収集・保存し、提供します。また、図書館の利用が困難な方等には、読書サポート等のサービスの充実を図るとともに、電子書籍の充実や移動図書館車「ぶっくる号」の巡回等により、利用環境の整備を推進します。	●
③−2	読書普及活動事業	図書館でおはなし会や読み聞かせ会等を開催するほか、学校・幼稚園・保育所等を訪問し、ブックトークやおはなし会等を行います。また、各種講座、さまざまな展示イベントを開催します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
蔵書回転率	回	年間貸出冊数／蔵書冊数（蔵書1冊当たりの貸出回数）	1.7	1.8	1.9	2.0	1.6	1.8			0.0%		まなび推進局 市民図書館
市民図書館来館者数	人	市民図書館の来館者数	ー	154,000	159,000	168,000	186,044	187,000			0.0%		まなび推進局 市民図書館

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価（A/B/C）	今後の方向性 3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定 成果の方向性	所管判定 コストの方向性	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	生涯学習機会提供事業	・夏のかしばアカデミー 市民同士で得意なことを教えあう講座を8/25に初開催。39講座を中央公民館と総合体育館にて1日で実施。5月講師募集、7月受講生募集、8月開催。 ・家庭教育学級 市内各小学校の家庭教育学級生の補助金手続きや研修等を行う。4月学級生募集を行い、年3回の役員会及び合同研修会を実施。 ・社会教育学級及び関連団体 社会教育学級及び市内社会教育関連団体に対する補助金支給を行う。 ・社会教育委員会議 年3回、社会教育委員会議を開催し、市の社会教育に対し意見をもらう。また各種研修会、県関連行事の委員との調整や参加を行う。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	まなび推進局 生涯学習課
②−1	スポーツ活動支援事業	・スポーツ推進委員 委員会議を年3回程度招集し、今年度事業について協議する。今年度は社会体育振興モデル市町村となることから、地域でのスポーツ普及活動を行う。 ・市町村対抗子ども駅伝 駅伝に向け、11-12月頃選考会を実施。3月の本番に向け、スポーツ協会協力のもと、練習会を開催する。 ・ニュースポーツデー 2月頃、スポーツ推進員協力のもと、ニュースポーツ、軽スポーツを集めたイベントを市民向けに実施。 ・かしばスポーツweeeeek スポーツ等の体を動かす体験ができるイベントを総称してかしばスポーツweeeeekとし、子どもの競技能力向上のためのスポーツ教室として7/20にバスケットボール教室、9/23にサッカー教室を開催し、10/14には親子で体を動かすことを楽しむイベントや体力測定会を開催する。また指定管理者と連携し、その他スポーツイベントを順次行う。 ・施設改修 北部地域体育館の長寿命化改修工事及び外部トイレ洋式化工事、また総合体育館観客席正面入口前修繕工事を実施。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	まなび推進局 生涯学習課
③−1	資料情報提供事業	・図書館資料や電子書籍の充実 ・図書館システムの更新による図書館利用環境の整備 ・読書バリアフリー事業の推進	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	まなび推進局 市民図書館
③−2	読書普及活動事業	・おはなし会等の定例行事、図書のテーマ展示の実施 ・学校園等との連携による子ども読書活動の推進 ・広報やホームページ、SNS等での図書館情報の発信	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	まなび推進局 市民図書館

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　69-70 ページ）

政策名	3　誰もが等しく、生涯輝き続けるために。（人権・協働・文化）
施策名	16　歴史文化財の保存と継承・展開

目指す姿

気軽に文化財について学習できる環境が整備されており、文化財を通じて、まちに愛着と誇りが持てている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

①　二上山博物館機能の充実

地域の歴史・文化を学習する拠点として、また情報発信の拠点として、二上山博物館の機能を充実させます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	博物館活性化事業	博物館DX化推進事業により、誰もが楽しく学び、知的体験を享受できるデジタルミュージアムの実現を目指します。また、特別展や講演会・講座の開催、学校との連携による博学連携教育の推進等、多様な年齢層へ本市の歴史文化財の魅力向上に繋げる事業を展開します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
博物館入館者数	人	二上山博物館の入館者数	7,479	8,000	8,500	9,000	8,277	10,000			0.0%		まなび推進局 文化財課
博学連携参加者数	人	博学連携参加者数	719	800	850	900	1,359	1,400			0.0%		まなび推進局 文化財課

②　文化財の保護・啓発

文化財を後世に保存・継承するために必要な措置を講ずるとともに、文化財の魅力を発信して、活用及び啓発を行います。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	文化財保護啓発事業	市内にある文化財の基礎資料の収集・蓄積、遺跡の保護等を行います。また、歴史講座やイベントの開催により、文化財・遺跡の活用を図り、広く普及、啓発活動を行います。	●
②−2	市史編纂事業	市史編さん委員会委員の人選を行い、編集方針や内容・構成などの市史編纂に伴う基本計画を策定するとともに、執筆編集を行う市史編集委員会の委員の人選を進め、市史編纂に向けての組織体制を整備します。	

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
指定文化財の件数	件	国・県・市指定文化財の件数（累計）	42	43	44	45	44	44			0.0%		まなび推進局 文化財課
史跡公園利用者数	人	尼寺廃寺跡学習館の利用者数	1,585	1,600	1,650	1,700	1,651	1,700			0.0%		まなび推進局 文化財課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価（A/B/C）	今後の方向性 3視点 必要性	有効性	効率性	所管判定 成果の方向性	コストの方向性	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	博物館活性化事業	・特別展、企画展等の各種展覧会及び講演会、講座等の開催により、地域の魅力ある歴史資源を活用した質の高い学習機会を提供する。 ・博学連携教育（郷土学習授業）により、児童・生徒に多様な学習機会を提供し、郷土の歴史への理解と愛着を醸成する。 ・博物館資料等のデジタルアーカイブ化を計画的に進め、次代に引き継ぐための保存の措置を講じるとともに、その成果を積極的に公開し、地域の魅力向上に努める。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	まなび推進局 文化財課
②−1	文化財保護啓発事業	・歴史文化財を後世に保存・継承するため、史跡公園をはじめ、指定文化財等の維持管理を適切に実施する。 ・本市の歴史文化財の魅力を発信するため、歴史講座や現地学習講座等を通じて活用及び啓発に務める。 ・葛城修験日本遺産等の広域ネットワークによる連携・協力事業を実施し、本市の歴史文化財の活用と活性化を図りつつ、本市への来訪者の誘致、市民参加の促進に務める。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	まなび推進局 文化財課
②−2	市史編纂事業	・市史編集委員会及び専門部会を設置し、編纂事業の組織・体制を整備するとともに、基本方針をより具体化するため、共通した編集方針や調査・研究の方向性等を審議する。 ・大和五位堂鋳物師資料の調査及び保存の措置を継続して実施する。また、大学及び研究機関等との共同調査・研究を進め、市史への基礎資料とするとともに、展覧会等を通じて、市史編纂事業の進捗状況を市民に周知する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	まなび推進局 文化財課

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　71-73　ページ）

政策名	4　まちの活力と魅力の向上のために。（産業・観光）
施策名	17　商工業の振興

目指す姿

商工業の活性化によって、市内で「住む」だけでなく、「働き、消費する」という好循環が生み出されている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 企業の活性化

市内における企業の経済活動の活性化や経済規模の拡大を支援し、地域経済の好循環を促すことで、雇用機会の創出を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	企業支援事業	各種補助制度により、市内企業の経営を支援します。また、企業誘致や市内企業の移転・増設等の企業立地を推進します。地域ブランド「KASHIBA+」の認定品の拡充や市内外での認知度の向上のためのプロモーション活動を実施します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
企業立地件数	件	事業計画を認定した企業数（令和元年度からの累計）	1	6	10	14	9	10			-11.1%		産業振興局 商工観光課
各種補助金申請件数	件	市補助金4種（設備投資促進補助金、商品開発・販路開拓等支援事業補助金（～R2産学連携促進補助金）、特許等取得支援補助金、環境配慮型企業定着促進補助金）に対する申請件数（令和元年度からの累計）	7	42	70	98	38	42			-20.0%		産業振興局 商工観光課
香芝ブランド認定件数	件	地域ブランド「KASHIBA+」認定件数（令和元年度からの累計）	23	33	43	53	27	33			-230.0%		産業振興局 商工観光課

② 創業の促進

市内企業の競争力の強化や新たな産業構造の構築、雇用創出の原動力となる新規企業の創業を支援し、地域経済の活性化を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	創業促進事業	創業者支援制度や香芝市商工会と連携して実施する創業セミナー等により、市内の創業希望者を育成・支援します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
市内での創業者数	人	市の各種制度を活用して創業した人数（累計）	11	66	110	154	29	66			-20.0%		産業振興局 商工観光課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価（A/B/C）	今後の方向性 3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定 成果の方向性	所管判定 コストの方向性	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	企業支援事業	・市内中小企業者を支援するため、企業立地推進事業、商品開発・販路開拓等支援事業、特許等取得支援事業、設備投資促進事業を実施する。 ・かしば産業展を開催することで、市内事業者のPRを実施する。 ・商工会と連携し、地域ブランド「Kashiba＋」の認知度向上を目的に、庁舎および市内商業施設等においてPRを実施する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	産業振興局 商工観光課
②−1	創業促進事業	・創業促進補助金の他、アドバイザー制度、香芝みらい塾等、創業支援関連事業の実施及び周知を行う。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	産業振興局 商工観光課

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　74-75 ページ）

政策名	4　まちの活力と魅力の向上のために。（産業・観光）
施策名	18　農業の振興

目指す姿

農地が適正に保全され、朝市等の利用により農業を身近に感じることができ、地産地消が浸透している。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 農業体制の整備および市内農作物の魅力創造

後継者の支援や新たな担い手育成により、耕作放棄地の増加を防ぐとともに、農地に出没する有害鳥獣による農作物の被害防止に努めます。また、香芝産酒米等の生産拡大を図り、市内外への販路拡大などに取り組みます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	農産物鳥獣被害防止事業	有害鳥獣による農作物被害が発生している地域を的確に把握し、鳥獣を捕獲する猟友会との連携を図りながら対応を行います。	●
①−2	地産地消推進事業	100%香芝産の素材にこだわった農作物の生産拡大や販売の促進、市内学校給食での使用拡大に取り組みます。また、香芝産酒米の生産支援および香芝産酒のブランド化・販路拡大支援などを行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）		
農業施設の改修達成率	%	改修済み箇所／改修予定箇所	100	100	100	100	100	100			0.0%		産業振興局 農林課
市内酒造会社の香芝産酒米使用率	%	香芝産酒米使用量／酒米使用量	13	18	23	28	15	18			0.0%		産業振興局 農林課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
今年度の事業実施計画		実績と課題	担当課評価（A/B/C）	3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定（成果の方向性・コストの方向性）	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①−1	農産物鳥獣被害防止事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	産業振興局 農林課
・香芝市有害鳥獣防止計画及び香芝市アライグマ・ヌートリア防除実施計画に基づき、有害鳥獣による農作物被害が発生する地域において罠を設置し、捕獲を実施する。							
①−2	地産地消推進事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	産業振興局 農林課
・香芝産酒用米の活用拡大を目指して、酒用米の作付け面積の拡大を図る。							

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　76-77 ページ）

政策名	4　まちの活力と魅力の向上のために。（産業・観光）
施策名	19　観光の振興

目指す姿

観光を目的とした多くの人が訪れることで、市内での消費が促進され、まちにさらなる活気が生まれている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 観光情報の発信

市内の観光情報を発信し、来訪客の増加を図ることで、まちの活力を生み出します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	観光イベント実施事業	市内への来訪客の増加を図るため、観光資源を活用したイベントを実施します。また、パンフレットやSNS等を用いた情報発信、観光に関連したグッズ等の製作を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
観光客数	人	市内4地点の年間推定来訪者数、観光資源を活用したイベント参加者数の合計	40,496	41,000	42,000	43,000	43,396	44,000			0.0%		産業振興局 商工観光課

② 観光資源の魅力向上

市内の観光資源の魅力を高めることで、さらなる来訪者の獲得やリピーターの創出を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	観光資源魅力向上事業	観光名所への案内標識や解説板の設置、保存を目的とした整備等によって、アクセスや快適性の向上を図ります。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
観光客の満足度	%	観光客アンケート調査で「香芝市への観光に満足」と回答した人数／全回答者数（二上山・どんづる峯への来訪者対象）	30	40	50	60	72	75			0.0%		産業振興局 商工観光課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課評価（A/B/C）	3視点：必要性	3視点：有効性	3視点：効率性	所管判定：成果の方向性	所管判定：コストの方向性	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	観光イベント実施事業	・葛城地域が有する観光資源を活用したイベント・PRを実施 ・市内観光資源を活用したかしばウォークの開催	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	産業振興局 商工観光課
②−1	観光資源魅力向上事業	・市内観光資源の認知度向上のため観光アプリの周知を実施 ・どんづる峯でのアンケート調査・整備・維持管理事業 ・二上山でのアンケート調査・登山道での清掃活動・安全点検の実施	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	産業振興局 商工観光課

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　78-80 ページ）

政策名	5　まちと人の安全・安心のために。（安全・安心）
施策名	20　災害対策の強化

目指す姿

市民一人ひとりや地域、行政が一丸となって防災・減災に取り組むことで、災害に対する強靭な基盤ができている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 災害時緊急体制の確立

災害が発生した状況においても、各々が適切な対応・行動を取り、円滑な初動対応・迅速な復旧活動を行えるよう、市職員 の災害対応能力の向上を図るとともに、消防団・自主防災組織との連携を強化します。また、避難所の生活環境の向上を図ります 。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	地域防災対策計画関連事業	災害対応のための計画・マニュアルの改正・策定を行います。また、訓練の実施により市職員の災害対応能力の向上を図ります。	●
①−2	防災用品等備蓄事業	女性や要配慮者等への対応、また、新型コロナウイルスを含んだ未知の感染症等の対策を考慮しながら、非常食や生活必需品等の災害用備蓄品を管理するとともに、避難所の良好な生活環境を確保するための資機材の整備を進めます。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）		
災害用備蓄充足率	%	想定避難者数に対する食糧備蓄率・飲料水備蓄率・毛布備蓄率、指定避難所数に対するポータブル発電機備蓄率の平均値	56	75	90	100	94.5	75			0.0%		生活安全部 危機管理課

② 防災・減災対策の強化

局地的豪雨による浸水被害や洪水時の被害を軽減する事業を推進するとともに、市民の意識高揚を図り、災害に強いまちづくりを進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	住宅耐震化啓発支援事業	耐震改修工事補助や耐震診断の制度充実を図るとともに、広報等で市民へ周知し、住宅耐震化の促進を図ります。	●
②−2	浸水対策事業	市管理河川や水路および道路構造を改良する対策事業を実施します。	●
②−3	大和川流域総合治水対策事業	ため池を活用した貯留施設の整備を計画的に進めます。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（当該年度比）		
住宅耐震化率（耐震シェルター含む）	%	耐震性を有する住宅の数／住宅総数	90	94	96	98	—	94.0			#####		都市創造部 都市計画課
浸水常襲地域内における家屋浸水解消戸数	戸	減災対策（対策対象戸数全298戸）により浸水被害が解消された家屋戸数（累計）	142	142	175	192	142	142			—		都市創造部 土木課
ため池治水対策率	%	対策量／大和川総合治水対策協議会における計画対策量	40	53	58	60	52	53			-307.7%		都市創造部 土木課

③ 消防団体制の充実

全国的に消防団員が減少傾向にある中 で、消防団の人員を確保し、資機材を充実させることで、地域防災力の中核として活動する消防団の機動力を強化します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③−1	消防団活性化事業	消防団の活動や重要性を広報紙やHP等で発信し、消防団に対して、より一層の理解促進を図ります。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（当該年度比）		
消防団員数	人	消防団の団員数	132	132	132	132	131	132			0.0%		生活安全部 危機管理課

④ 自主防災力の向上

防災に関する情報提供や訓練の実施支援等を通じて、地域の自主防災力を強化し、自助・共助による災害対応能力の向上を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
④−1	防災意識啓発事業	出前講座の実施や防災訓練の実施支援等を継続して行います。また、防災リーダーの育成支援、各地域に沿った避難所運営マニュアルの作成促進等に取り組みます。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（当該年度比）		
自主防災組織活動率	%	訓練等を実施した自主防災組織数／自主防災組織数	44	60	70	80	24.4	60			0.0%		生活安全部 危機管理課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課評価（A/B/C）	3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定（成果の方向性・コストの方向性）	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①−1	地域防災対策計画関連事業 ・防災会議及び分科会による地域防災計画の修正等の業務に係る庶務を実施する。 ・防災行政無線の更新に向けて、同報系システムの実施設計を行う。 ・職員に対する防災研修を実施する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	生活安全部 危機管理課
①−2	防災用品等備蓄事業 ・保存年限を迎える備蓄品について、生活困窮者や自治会への配布といった有効活用を図りつつ、更新を行う。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	生活安全部 危機管理課
②−1	住宅耐震化啓発支援事業 ・無料耐震診断事業、耐震改修工事補助事業の実施 ・ブロック塀等撤去工事補助事業の実施 ・耐震シェルター設置工事補助事業の実施 ・市民フォーラム 「安全・安心　住宅耐震リフォームの個別相談会」の開催	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 都市計画課
②−2	浸水対策事業 ・市管理河川及び水路の浸水対策を行う。また、県管理河川に係る事業計画と連携して浸水地域の解消を促進する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 土木課
②−3	大和川流域総合治水対策事業 ・事業対象候補地となる市内のため池について、基礎調査を行う。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 土木課
③−1	消防団活性化事業 ・消防団の活動や重要性を発信するため、「消防だより」を発刊する。 ・11月に「防火パレード」、12月末に「年末特別警戒活動（夜警）」を実施する。 ・消防団全体及び各分団における訓練を実施する。 ・奈良県消防操法大会出場に係る訓練により、団員の更なる技能向上を図る。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	生活安全部 危機管理課
④−1	防災意識啓発事業 ・自主防災組織が実施する「防災資機材等の整備」「防災士など防災リーダーとなる人材の育成事業」「防災訓練などの実施費用」などに対する補助金事業を行う。 ・出水期前に広報紙で防災に関する特集記事を掲載する。また、防災週間（8/30～9/5）に合わせ、市役所で啓発パネルの設置を行う。 ・市民に対する出前講座や訓練支援を実施する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	生活安全部 危機管理課

担当課評価		
A	0	事業
B	0	事業
C	0	事業

成果の方向性			コストの方向性		
拡充	0	事業	拡大	0	事業
現状維持	0	事業	現状維持	0	事業
縮小	0	事業	縮小	0	事業
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　81-82　ページ）

政策名	5　まちと人の安全・安心のために。（安全・安心）
施策名	21　生活安全対策の強化

目指す姿

市民一人ひとりが防犯に関する知識と意識を持ち、地域ぐるみで治安を守りながら、安心して暮らすことができている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

①　防犯意識の向上

市民の防犯意識の向上を図り、自主的な防犯活動を促進することで、安全・安心なまちづくりを推進します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	防犯意識啓発事業	毎月の地域安全ニュースの発行や年金給付日に合わせた特殊詐欺防止のための啓発活動など、積極的な広報活動を実施することで、市民の防犯意識の向上を図ります。また、香芝警察署や地域安全推進委員等と連携し、地域の見守り活動を実施します。各地域においては、自治会の自主防犯組織を支援するとともに、連携のもと、防犯カメラ・防犯灯等の設置を促進します。（関連補助金に関して、「施策13　地域コミュニティの醸成・活性化　①自治会活動の支援」に記載しています。）	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
年間刑法犯認知件数	件	香芝市内における年間刑法犯認知件数（暦年単位）	238	230	220	210	314	230			200.0%	[redacted]	生活安全部 生活安全課
「特殊詐欺」認知件数	件	市内における年間刑法犯認知件数のうち「特殊詐欺」といわれる罪種別認知件数（暦年単位）	5	5	5	5	21	5			200.0%	[redacted]	生活安全部 生活安全課
侵入窃盗関係認知件数	件	市内における年間刑法犯認知件数のうち「住宅対象侵入窃盗」及び「事業所対象侵入窃盗」といわれる罪種別認知件数の直近4年間の平均件数（暦年単位）	27	25	22	19	15	25			200.0%	[redacted]	生活安全部 生活安全課
「こども110番の家」の協力率	%	「子ども110番の家」の協力世帯数／世帯数	4.1	4.3	4.6	5.0	4.0	4.3			200.0%	[redacted]	生活安全部 生活安全課

②　消費者保護の推進

多様化する消費者トラブルを未然に防止するとともに、トラブルに対して適切な相談対応を行うことで被害を最小限に抑えることに努めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	消費生活安全事業	市民からの相談に対し、適切に対応できる相談体制を確保します。また、消費生活に係るトラブルを未然に防止するため、多発しているトラブル例や対処方法について、広報などを通じて啓発します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
消費生活相談の解決率	%	助言・情報提供・斡旋・紹介により処理した件数／年間相談件数	92	92	92	92	97	95			0.0%	[redacted]	産業振興局 商工観光課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価（A/B/C）	今後の方向性 3視点 必要性	3視点 有効性	3視点 効率性	所管判定 成果の方向性	所管判定 コストの方向性	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	防犯意識啓発事業	・地域安全ニュースを毎月（年間12回）配信し、自治会での印刷・回覧作業協力を得て防犯啓発を行う。 ・市公式LINEの活用による定期的（年間6回以上）な防犯情報の発信、及び犯罪発生が予測される緊急時には注意喚起を行うほか、街頭啓発活動やホームページなどを活用した啓発活動を実施する。 ・高齢者防犯電話購入補助金交付事業の実施・周知により、高齢世帯における防犯電話の設置を推進し、特殊詐欺被害を抑制する。 ・防犯灯など生活安全課管理施設を点検し、予防保全含めた修繕を実施する。 ・市が設置する防犯カメラの管理及び点検を適切に行う。 ・「子ども110番の家」設置協力を自治会に依頼し、設置数の増加を図るとともに、劣化した旗の交換を実施し、子どもに目につきやすい環境を整備する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	生活安全部 生活安全課
②−1	消費生活安全事業	・香芝市消費者安全確保地域協議会について、会議等を通して要配慮消費者の実態や情報を共有する。 ・広報紙や市ホームページにて消費者トラブルに関する注意喚起や啓発記事を掲載する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	産業振興局 商工観光課

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　83-84 ページ）

政策名	5　まちと人の安全・安心のために。（安全・安心）
施策名	22　交通安全対策の強化

目指す姿

正しい交通ルールやマナーが守られ、誰もが安全で安心して過ごすことができる。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

①　交通安全対策の推進

香芝警察署と連携した交通安全に関する啓発活動などを行うことにより、市民の交通安全意識の高揚を図り、市民参加型の交通安全活動を推進します。また、駅周辺の自転車駐車場・自動車駐車場の管理や放置自転車等禁止区域での指導・撤去を行い、駐車秩序を保つことで、交通安全の促進を図り、交通違反や交通事故発生の抑制に努めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	交通安全対策啓発事業	香芝警察署や関係団体と連携し、交通安全啓発活動及び交通安全立哨活動を実施します。また、高齢者の運転免許証自主返納等を支援します。	●
①−2	自転車等駐車場管理事業	鉄道駅周辺の交通安全を確保・維持するため、適正で効率的な自転車等駐車場の管理・運営を行います。	●
①−3	放置自転車対策推進事業	放置自転車等禁止区域における指導や撤去を行い、放置自転車の解消を図ります。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	
交通事故発生件数	件	年間交通事故発生件数（暦年単位）	182	170	165	160	125	170			1516.7%	[redacted]	生活安全部 生活安全課
運転免許自主返納者数 高齢者運転免許自主返納支援事業補助金申請者数	件	~~運転免許自主返納者数（暦年単位）~~ 生活安全課で算出	~~252（R1暦年の返納者数）~~	~~260~~ 130	~~270~~ 135	~~280~~ 140	123	130			0.0%	[redacted]	生活安全部 生活安全課
放置自転車等撤去台数	台	年間放置自転車等撤去台数	117	110	100	90	89	110			200.0%	[redacted]	生活安全部 生活安全課

②　交通安全施設の整備

交通安全施設を整備することにより、歩行者の安全確保に努めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	交通安全施設整備事業	通学路交通安全プログラムなどに基づき、交差点付近の防護柵設置などの安全対策を実施します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	
施設整備率	%	対策済みの箇所数／通学路交通安全プログラムに基づく要対策箇所数（累計）	85	95	100	100	71	85			—	[redacted]	都市創造部 公園道路管理課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
			実績と課題	担当課評価（A/B/C）	3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定（成果の方向性・コストの方向性）	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①−1	交通安全対策啓発事業	・職員による毎月1回の街頭立哨のほか、地域における交通安全啓発活動を定期的（月に1回以上）に行う。 ・高齢者運転免許証自主返納等支援制度を継続実施・周知し、運転に不安を感じる方の自主返納を促進する。 ・春・秋の交通安全運動期間に合わせ、年齢や属性に応じた交通安全啓発（イベント、チラシや啓発物品の配布等）を行う。 ・市公式LINEやホームページの活用により、定期的（年間6回以上）に交通安全啓発を行う。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	生活安全部 生活安全課
①−2	自転車等駐車場管理事業	（自転車駐車場） ・香芝市シルバー人材センター協議会を指定管理者として運営・管理を行う。 ・施設修繕については、指定管理者と現況について情報共有し、有効な修繕方法および修繕内容となるよう努める。 ・近鉄下田駅地下自転車駐車場の中規模改修のうち、照明LED化の入札を行い、光熱水費の低減を図る。 （自動車駐車場） ・タイムズグループを指定管理者として無人での運営・管理を行う。 ・現指定管理者の指定期間が令和6年度末で満了となるため、令和7年度以降の指定管理者を適正に選定する。 ・駐車場の車室の3室を活用し、カーシェアリングを行う。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	生活安全部 生活安全課
①−3	放置自転車対策推進事業	・放置自転車移動指導業務を奈良県シルバー人材センター協議会に委託し、鉄道各駅周辺の放置自転車禁止区域内の違法駐輪対策を実施する。 ・自転車保管所における自転車保管・返還業務を香芝市シルバー人材センター協議会に委託し、撤去自転車の保管管理及び返還手続きを速やかに実施する。 ・放置自転車禁止区域における看板及び区域図の状況を把握調査し、看板等の更新を昨年度に引き続き実施する。 ・撤去後一定期間が経過した自転車を処分告示後に売払処分する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	生活安全部 生活安全課
②−1	交通安全施設整備事業	・通学路交通安全プログラムに基づき、要対策箇所の整備を行う。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 公園道路管理課

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　85-87 ページ）

政策名	6　自然と調和した快適で便利な暮らしのために。（自然・環境・都市基盤）
施策名	23　環境問題への取り組み強化

目指す姿

みんなが環境について自ら考え、環境に配慮した生活・活動を実践している。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① ごみ減量と資源化の推進

市民・事業者・行政の協働のもと、ごみの発生抑制、新たな資源化を推進し、環境への負荷を減らします。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	ごみ減量及び資源化推進事業	ごみの発生・排出抑制のための各種事業（電動式生ごみ処理機の購入補助、集団資源回収奨励、マイバッグ運動など）や分別・収集に係るルールの見直し、リユースイベント等を実施します。	—

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
1人当たりの1日のごみ排出量	g	家庭系ごみ総量／365日／人口	675	533	533	533	607	533			475.4%	[redacted]	市民環境部 廃棄物対策課
ごみの資源化率	%	資源化量／家庭系ごみ総量	14.5	23	23	23	13.1	23.0			0.0%	[redacted]	市民環境部 廃棄物対策課

② 環境保全対策の推進

市民の環境に対する意識向上を促し、市内の環境保全を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	不法投棄防止啓発事業	不法投棄の温床になりやすい現場に対し監視カメラの設置、パトロール、啓発看板等で対策するとともに、定期的に不法投棄物を撤去します。	●
②−2	生活環境保全事業	環境に関する情報発信、あき地所有者への雑草除去通知、環境調査、公害苦情対応等を実施します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
不法投棄相談件数	件	相談件数	25	23	21	19	22	23			1250.0%	[redacted]	市民環境部 廃棄物対策課
公害苦情相談件数	件	相談件数	45	38	31	24	24	38			642.9%	[redacted]	市民環境部 環境対策課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価（A/B/C）	今後の方向性 3視点 必要性	有効性	効率性	所管判定 成果の方向性	コストの方向性	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	ごみ減量及び資源化推進事業	・新聞、雑誌、ダンボール等、再生利用可能な一般廃棄物を集団回収するPTA等の各種団体に対し、奨励金の交付を実施する。 ・家庭内で発生する生ごみ等の減量のため、電動式生ごみ処理機を購入される方に対し、購入金額の一部の補助を実施する。 ・まだ使える“食器類”を皆さまから集め、必要とするかたに差し上げるリユースコーナー「ええもんクルっと市・コーナー」を開催する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	市民環境部 廃棄物対策課
②−1	不法投棄防止啓発事業	・不法投棄を抑制するため、広報活動及び監視パトロールを実施する。 ・不法投棄を抑制するため、通報があれば必要に応じて不法投棄物を撤去する。 ・不法投棄を抑制するため、監視カメラの保守点検等の管理を行う。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	市民環境部 廃棄物対策課
②−2	生活環境保全事業	・環境にかかるテーマを広報やHPにて発信し、市民への周知・関心を高める ・所有者への雑草除去通知送付及び所有者から委託された雑草除去の実施 ・公害苦情（騒音・振動・悪臭）の聞き取り及び行為者への改善依頼や公害調査（自動車騒音・環境騒音・河川の水質検査・大気汚染）の実施	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	市民環境部 環境対策課

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　88-89 ページ）

政策名	6　自然と調和した快適で便利な暮らしのために。（自然・環境・都市基盤）
施策名	24　自然環境・景観の保全

目指す姿

街路や公園、河川などが綺麗に保たれていて、一人ひとりがその状態を維持しようと努めている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 美しい自然環境・景観の保全

まちを形成する道路や公園、河川および森林の適切な管理により、美しい自然環境・住環境の保全を図ります。また、美しいまち並み景観の形成および屋外広告物の適正な管理を図るとともに、地域を主体とした景観形成の仕組みづくりを推進します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	街路美化推進事業	まちを形成する道路等について、定期的な草刈り、剪定などの美化作業を行います。また、地域の美化活動を促進します。	●
①−2	都市公園維持管理補修事業	誰もが安全、快適に利用できる公園環境のための適切な維持管理を行います。	●
①−3	河川維持管理事業	河川・水路の定期的な点検・美化清掃・維持補修を行うとともに、土砂上げ等など適切な維持管理により、河川の氾濫を抑制します。	●
①−4	屋外広告物規制事業	良好な景観・風致を維持するために、広告物掲出時の指導・啓発を行うとともに、違反広告物の除却作業を行い、その削減に努めます。	—

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）		
森林・街路・公園維持管理面積	ha	維持管理体制の整っている森林面積、街路植樹面積、公園面積の総数（累計）	44	44	77	130	45	45			#####		都市創造部 公園道路管理課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課評価（A/B/C）	3視点	所管判定	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	街路美化推進事業	・定期的な街路上における街路樹の剪定を実施する	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・		必要性 有効性 効率性	成果の方向性 コストの方向性	【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 公園道路管理課
①−2	都市公園維持管理補修事業	・定期的な都市公園内における樹木の剪定を実施する ・定期的な公園内における遊具の点検を実施し、危険度の高い箇所から改修を実施する	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・		必要性 有効性 効率性	成果の方向性 コストの方向性	【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 公園道路管理課
①−3	河川維持管理事業	・河川や水路の土砂撤去や草刈り等を実施する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・		必要性 有効性 効率性	成果の方向性 コストの方向性	【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 公園道路管理課
①−4	屋外広告物規制事業	・屋外広告物の新規、継続、撤去等許認可事務 ・中和幹線の良好な景観形成に努める ・違反広告物の簡易除却活動 ・屋外広告物の定期的な安全点検実施に係る周知・啓発	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・		必要性 有効性 効率性	成果の方向性 コストの方向性	【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 都市計画課

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　90-91　ページ）

政策名	6　自然と調和した快適で便利な暮らしのために。（自然・環境・都市基盤）
施策名	25　良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成

目指す姿

良好な市街地が形成され、誰もが安心して自由に快適に移動できている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

①　良好な市街地の形成

社会情勢の変化にともなう新たな課題や住民のニーズに対応するため、まちづくりに関する計画の策定や見直しを進めるとともに、管理不全な空き家等の発生抑制など、適正な土地利用を推進します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	空家等対策関係事業	空き家管理の重要性を周知するため、所有者等への情報提供を行うとともに、問題のある空き家等の把握に努め、所有者等による適正な管理や活用を促進します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
空き家率	%	空き家数／住宅総数	8.2	8.2	8.2	8.2	－	8.2			－		都市創造部 都市計画課

②　持続可能な地域公共交通の確立

地域公共交通を維持していくために、モビリティマネジメントや交通弱者の外出支援など実施し、持続可能な地域公共交通の利用促進に取り組むことで、誰しもが移動しやすい快適な暮らしの提供に努めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	地域公共交通事業	民間の公共交通機関との連携を図りながら、地域公共交通（コミュニティバス、デマンド交通）を運営します。また、モビリティマネジメントなど実施し、地域公共交通の利用促進に取り組みます。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
コミュニティバス利用者数	人	コミュニティバスの利用者数	58,660	65,000	65,000	65,000	44,266	65,000			0.0%		生活安全部 生活安全課
デマンド交通利用者数	人	デマンド交通の利用者数	43,478	47,000	47,000	47,000	46,726	47,000			0.0%		生活安全部 生活安全課
JR西日本の利用者数	千人	JR西日本市内3駅の利用者数（奈良県統計年鑑発表年度の数値であり、利用実績値としては各2年前のデータ）	1,576	1,576	1,576	1,576	1,318	1,576			0.0%		生活安全部 生活安全課
近畿日本鉄道の利用者数	千人	近畿日本鉄道市内5駅の利用者数（奈良県統計年鑑発表年度の数値であり、利用実績値としては各2年前のデータ）	8,913	8,913	8,913	8,913	7,390	8,913			0.0%		生活安全部 生活安全課
奈良交通の利用者数	千人	奈良交通市内バス4路線の利用者数	1,679	1,679	1,679	1,679	－	1,679			0.0%		生活安全部 生活安全課
タクシー（西大和交通圏）の利用者数	千人	西大和交通圏全体のタクシーの利用者数	865	865	865	865	－	865			0.0%		生活安全部 生活安全課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価（A/B/C）	今後の方向性 3視点 必要性	有効性	効率性	所管判定 成果の方向性	コストの方向性	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	空家等対策関係事業	・管理不全の空き家所有者等に対し、所有者等の責務を周知するとともに空き家管理サービス、市場流通の促進を図る等の情報提供 ・空き家の除却、利活用補助事業の実施 ・納税通知書の送付機会を活用し、建物所有者等へ空家に関する情報提供 ・空家法の改正内容等を踏まえた「香芝市空家等対策計画」の改訂及び「マンション管理適正化推進計画」の策定	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 都市計画課
②−1	地域公共交通事業	・香芝市コミュニティバスについて、新たに導入したバス車両を広報やイベント等を活用してPRし、利用促進を図る。 ・更新して使用しなくなったバス車両を処分し、収入確保を図る。 ・停留所およびルート（便）見直し廃止基準について、広く広報し、乗降者数データの公表を実施する。 ・香芝市デマンド交通について、出前講座等を活用し、インターネット予約や有効な利用方法の周知を図る。 ・安全な運行管理を実施するため、定期的に運行事業者との協議を実施する。（月1回以上） ・香芝市地域公共交通計画推進のため、香芝市地域公共交通活性化協議会を開催する（5月・7月・3月開催予定）。 ・令和7年度以降のコミュニティバスおよびデマンド交通の運行について、香芝市地域公共交通活性化協議会での合意形成を図り、入札等により運行事業者を決定する。 ・モビリティマネジメントや出前講座など、市民の声にふれる機会を通じ、公共交通の親和度及び認知度を高め、利用促進を図る。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	生活安全部 生活安全課

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　92-94　ページ）

政策名	6　自然と調和した快適で便利な暮らしのために。（自然・環境・都市基盤）
施策名	26　生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実

目指す姿

バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

①　公園整備の推進

身近な場所において、余暇を楽しむ機会を増やすため、安全・快適に利用できる公園の整備を図ります。また、多くの人が集い、活動できるスポーツ公園、総合公園の整備を進め、地域の賑わいの場とします。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	香芝市スポーツ公園整備事業	恵まれた自然環境の中で、市民の誰もが安全で自由に遊び、多様なスポーツが行える公園を計画的に整備します。	●
①−2	街区公園・親水緑地整備事業	市内全域の配置を踏まえ、ため池を利用した親水公園など事業地の確保を検討し、公園・緑地の整備を図ります。	●
①−3	香芝総合公園整備事業	周辺環境との一体的整備を基本とし、全体的な整備内容等の見直しを図ったうえで、計画的に事業を推進します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値		
			（R1）	R6	R10	R14
住民1人当たりの都市公園の敷地面積	㎡	都市公園面積／人口	5.1	5.5	6.8	7.9

前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）		
5.2	5.5			#####		都市創造部 土木課

②　バリアフリー化の推進

バリアフリー基本構想に基づき、高齢者や障がい者をはじめ、すべての人にやさしいまちづくりを進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	バリアフリー推進事業	香芝市バリアフリー基本構想に基づき、特定事業の進捗を管理し、バリアフリー化を推進するとともに、バリアフリー教室の開催などにより「心のバリアフリー」を推進します。	●
②−2	歩道等バリアフリー化事業	段差の解消や視覚障がい者用誘導ブロック・スロープ等の設置により、歩道等のバリアフリー化を推進します。	●
②−3	既存道路バリアフリー化事業	香芝市バリアフリー基本構想における重点整備地区内の道路について、用地取得をともなう歩道の設置や道路構造の改良を行うことで、歩行空間の確保を目指します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値		
			（R1）	R6	R10	R14
重点整備地区内のバリアフリー特定事業完了率	%	特定事業（バリアフリー化工事等）が完了した事業数／特定事業の全事業数	32.9	54.4	73.8	100

前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）		
55.0	55.0			-148.9%		都市創造部 都市計画課

③　地域拠点としての駅周辺整備

駅利用者の利便性の向上および安全性の確保を促進します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③−1	駅周辺整備事業	鉄道事業者をはじめとする権利者および関係機関と協議し、合意形成に至った箇所について整備します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値		
			（R1）	R6	R10	R14
駅周辺整備率（踏切・暫定広場整備を含む）	%	整備した箇所数（累計）／整備対象箇所数	68	72	72	76

前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）		
72	72			#####		都市創造部 土木課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
今年度の事業実施計画		実績と課題	担当課評価（A/B/C）	3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定（成果の方向性・コストの方向性）	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①−1	香芝市スポーツ公園整備事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 土木課
・香芝市スポーツ公園（プール区域）において、プール施設の建築工事及び仮設駐車場の造成工事を行う。 ・土地・建物等の価格算定を行い、地権者に対して用地交渉を行う。							
①−2	街区公園・親水緑地整備事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 土木課
・今年度は事業実施箇所はないが、今後の事業実施に向けて関係機関（自治会等）と協議を進めていく。							
①−3	香芝総合公園整備事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 都市計画課
・香芝総合公園整備基本構想の策定 ・総合公園内園路の除草、樹木剪定、側溝清掃等の実施							
②−1	バリアフリー推進事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 都市計画課
・JR香芝駅バリアフリー化補助事業の実施 ・バリアフリー教室の開催 ・心のバリアフリーに関する広報・啓発 ・バリアフリー基本構想（特定事業計画）の進捗管理							
②−2	歩道等バリアフリー化事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 公園道路管理課
・総合体育館前において、歩道バリアフリー化工事を実施する。							
②−3	既存道路バリアフリー化事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 土木課
・土地・建物等の価格算定を行い、地権者に対して用地交渉を行う。							
③−1	駅周辺整備事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 土木課
・近鉄二上駅周辺整備について調査・検討を行う。							

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　95-96 ページ）

政策名	6　自然と調和した快適で便利な暮らしのために。（自然・環境・都市基盤）
施策名	27　道路整備の充実

目指す姿

交通混雑が解消され、誰もが安全に利用できる道路が確保されている。

SDGs該当分野

3 すべての人に健康と福祉を　9 産業と技術革新の基盤をつくろう　11 住み続けられるまちづくりを　13 気候変動に具体的な対策を

施策の主な取り組み

① 幹線道路の整備

幹線道路のネットワーク強化を図るため、計画的に整備を進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	主要幹線道路整備事業	都市計画道路の整備を段階的に進めます。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14
都市計画道路供用済延長	km	これまでに供用を開始した都市計画道路延長（累計）	27.3	27.7	28.6	30.1

前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
27.3	27.7			#####	[redacted]	都市創造部 土木課

② 生活道路等の安全性の確保

安全性や緊急性による優先度を踏まえ、生活道路等の適切な管理・整備を進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	道路維持管理補修事業	道路の路面状況等を把握するため、定期的なパトロールを行うとともに、市民から寄せられた情報などをもとに補修を行います。	●
②−2	橋梁点検及び長寿命化修繕事業	「香芝市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、道路橋の安全性・耐用年数の向上を図るため、修繕工事を実施します。	●
②−3	道路新設改良事業	道路の新設・拡幅整備を推進し、特に拡幅整備においては、部分的な待避所の設置や隅切りなど、状況に応じた整備を図ります。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14
市道の新設・改良箇所数	箇所	市道において、新設・改良工事を実施した箇所数（令和2年度からの累計）	0	4	8	12

前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
15	18			0.0%	[redacted]	都市創造部 土木課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名 / 今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価（A/B/C）	今後の方向性 3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定 成果の方向性 / コストの方向性	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	主要幹線道路整備事業 ・畑分川線（1工区）の橋梁上部工、及び尼寺関屋線及び畑分川線（スポーツ公園工区）の築造工事を行う。 ・土地・建物等の価格算定を行い、地権者に対して用地交渉を行う。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 土木課
②−1	道路維持管理補修事業 ・路面性状調査の結果と現状確認を合わせて、緊急度の高い路線から補修を実施する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 公園道路管理課
②−2	橋梁点検及び長寿命化修繕事業 ・5年1回の点検実施に該当する橋梁の点検を実施する。 ・点検結果により修繕が必要になった橋梁の修繕を実施する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 公園道路管理課
②−3	道路新設改良事業 ・市内の狭あいな道路の整備（拡幅工事等）を推進する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	都市創造部 土木課

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　97-98 ページ）

政策名	6　自然と調和した快適で便利な暮らしのために。（自然・環境・都市基盤）
施策名	28　上水道の基盤強化

目指す姿

「快適な水道サービスと安定した水道事業を目指して」という基本理念の実現に向けて、安心・安全・強靭な水道事業の運営が行われている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

①　安心・安全・安定した水道の供給

管路の耐震化および施設の適切な維持管理により、安心・安全な水道水の安定供給に努めます。また、応急給水用品の整備や飲料水貯水槽施設の設置などにより、災害時の持続可能な供給体制の充実を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	水道施設更新事業	漏水の可能性のある老朽管の更新及び最重要管である口径300mm以上の基幹管路の耐震化を重点的に行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	
基幹管路の耐震化率	%	基幹管路（口径300mm以上の配水管）の耐震管の累計総延長／基幹管路総延長	11.9	28.6	45.3	62.1	14.6	28.6			-71.3%	[redacted]	上下水道部 工務課

②　健全な水道事業の運営

適正な水道料金を維持し、適切なサービスを継続して提供できるよう、健全な水道事業運営に努め、今後県域水道一体化の検討も含め、経営基盤の強化を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	水道事業の経営健全化事業	委託業務の適正化や事務の効率化に取り組み、効率的な事業運営に努めます。また、ホームページ等による情報提供やお客さまのニーズに合ったサービスの提供に取り組みます。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	
経常収支比率	%	経常収益／経常費用	113.8	100以上	100以上	100以上	105.0	100以上			—	[redacted]	上下水道部 業務課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課評価（A/B/C）	3視点：必要性・有効性・効率性	所管判定：成果の方向性・コストの方向性	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①−1	水道施設更新事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	上下水道部 工務課
	・配水管の更新事業（12件） ・鉛製給水管取替の実施（36戸）						
②−1	水道事業の経営健全化事業	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	上下水道部 業務課
	・県域水道一体化に向けて、関係機関と共に諸調整を行う。 ・業務委託の更なる適正化に向けて、業務仕様の検討などを行う。						

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　99-100 ページ）

政策名	6　自然と調和した快適で便利な暮らしのために。（自然・環境・都市基盤）
施策名	29　下水道の整備

目指す姿

下水道が安定的に機能し、誰もが衛生的に暮らすことができている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

①　下水道の整備・更新

管渠整備を促進し、普及率の向上を図るとともに、管路施設老朽化の防止に努めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	公共下水道管渠整備事業	幹線管渠の整備を進めるとともに面的整備を進め、供用開始区域の拡大と普及率の向上を図ります。また、管路施設の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、施設の更新を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
下水道の人口普及率	%	下水道処理人口（下水道を利用できる人数）／住基人口	73.2	80.4	87.7	95	77.9	80.4			#####		上下水道部 下水道課

②　水洗化の促進

公共下水道への未接続世帯に対し、下水道への接続を促すことにより、水洗化の普及促進および水洗化率の向上に努めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	水洗化促進事業	供用開始区域において、下水道の未接続世帯に対し個別訪問し、接続の促進を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
下水道の水洗化率	%	下水道接続人口（下水道を利用している人数）／下水道処理人口（下水道を利用できる人数）	90.6	95	96	97	91.3	95			#####		上下水道部 下水道課

③　持続的な下水道機能の確保

下水道施設の計画的な点検や排水に対する水質指導により、持続的な下水道機能の確保を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③−1	下水道維持管理事業	マンホールポンプ施設の計画的な保守点検や、下水排水基準に適合しない汚水を排出する事業所への指導を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
法定水質基準遵守率	%	法律に基づく水質試験の基準を遵守した流域接続点の箇所数／市内の流域接続点の箇所数	100	100	100	100	100	100			0.0%		上下水道部 下水道課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価（A/B/C）	今後の方向性 3視点 必要性	有効性	効率性	所管判定 成果の方向性	コストの方向性	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	公共下水道管渠整備事業	穴虫・逢坂・上中・良福寺・五位堂・狐井・北今市・下田西地内において下水道管渠2.5kmの整備を実施	【実績】・・【課題】・・							【成果の方向性】・・【コストの方向性】・・	上下水道部 下水道課
②−1	水洗化促進事業	・公共下水道未接続者への普及啓発を専門に行う「下水道接続推進員」を雇用し、前年度の接続件数（404件）以上を目標に啓発を実施する。	【実績】・・【課題】・・							【成果の方向性】・・【コストの方向性】・・	上下水道部 下水道課
③−1	下水道維持管理事業	・流域下水道接続点等21箇所において、水質検査を実施する。	【実績】・・【課題】・・							【成果の方向性】・・【コストの方向性】・・	上下水道部 下水道課

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画 101-103ページ）

政策名	7　スマートでスリムな行政運営の確立のために。（行政経営）
施策名	30　行財政運営の最適化

目指す姿

行政活動に対する検証と改善が行われ、健全な財政基盤のもと、持続可能な行財政運営が実現している。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

①　総合計画・総合戦略の進行管理

総合計画（総合戦略を含む）に位置付ける施策及び事業に対する行政評価や都市経営市民会議の開催等により、事業の検証・改善を繰り返し行うことで、最適で計画的な行政運営を推進します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①－1	総合計画進行管理事業	総合計画（総合戦略含む）に位置付ける施策及び事業の行政評価を毎年度実施し、PDCAサイクルによる効果検証・改善を図ります。また、総合計画（総合戦略含む）の進行状況や行財政改革等に関して審議や検討を行う都市経営市民会議を運営し、各所管へのフィードバックを行います。	―

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	担当所管
「第5次香芝市総合計画」における各指標の達成割合	%	目標を達成した指標の数／全指標の数（本指標は除く）	－	80	80	80	42.3	80.0			0.0%	企画部 企画政策課
「第2期香芝市総合戦略」における各指標の達成割合	%	目標を達成した指標の数／全指標の数（本指標は除く）	－	80	80	80	45.4	80.0			0.0%	企画部 企画政策課

②　財政運営の健全化

各施策や事業を効率的・効果的に実施するため、財源の確保や将来の財政見通しを立てることにより、健全で持続可能な財政運営を推進します。

※参考指標とする理由及び実施する事業を設定していない理由
財政指標は市の全事務事業を適正かつ効率的に実施した結果として表れる数値であり、指標の達成を優先して目指すものではないため、参考とすべき指標として位置付けます。また、特定の事業に係る指標ではなく、市の事業全体の結果に影響される指標であるため、実施する主な事業は設定していません。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目指すべき方向性	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	担当所管
市債残高	億円	市債残高	305	減少させる	264					財務局 財政課
実質公債費比率	%	収入に対する負債返済の割合を示すための指標	15.2	県内市町村平均値を目指す	11.1					財務局 財政課
財政調整基金残高	億円（%）	財政調整基金残高/標準財政規模	14.6（9.6）	標準財政規模の10%程度以上を確保する	27.3（16.3）					財務局 財政課

③　公有財産の維持管理及び活用

「公共施設等総合管理計画」に基づき、財政負担の平準化を図り、良質で持続可能な公共施設サービスを提供します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③－1	公有財産維持管理事業	施設の安全性や機能性を保つため、定期点検や改修工事等の維持管理業務を実施します。また、「公共施設等総合管理計画」を更新するとともに、個別施設計画の策定・改訂を進め、計画に基づく公共施設の活用等を進めます。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値（9月末）	今年度の進捗 実績値（年度末）	今年度の進捗 目標達成度（R6年度比）	担当所管
個別施設計画策定数	件	個別施設計画を策定した施設類型数（平成30年度からの累計）	11	13	15	15	14	14			-366.7%	総務部 管財課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	今年度の事業評価 担当課評価（A/B/C）	今後の方向性 3視点（必要性・有効性・効率性）	今後の方向性 所管判定 成果の方向性	今後の方向性 所管判定 コストの方向性	今後の方向性 方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①－1	総合計画進行管理事業	・総合計画（総合戦略を含む）に位置付けた事業の行政評価の実施（事前記入：6月、事中評価及び説明会：9月、事後評価：1月） ・第5次香芝市総合計画（「中期基本計画」及び「（仮）香芝市デジタル田園都市国家構想総合戦略」）の策定 ・都市経営市民会議の開催（計4回、総合計画策定関係の審議等） ・第5次総合計画策定に係る市民アンケート調査（6月）、中学生アンケート（6月）、パブリックコメント（12月）等 ・ロジックモデル作成に係る研修及び説明会、所管ヒアリングの実施（6月～8月）	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	企画部 企画政策課
③－1	公有財産維持管理事業	・公共施設等総合管理計画の施設類型方針に基づいた個別施設計画は策定完了しているため、施設類型方針以外の施設の個別施設計画策定を進める。 ・公共施設の広域連携の取り組みを進めるため、公共施設の相互利用の本格導入に向けて中和・西和広域連携検討会の中で協議検討を行う。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・					【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	総務部 管財課

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画 104-105ページ）

政策名	7　スマートでスリムな行政運営の確立のために。（行政経営）
施策名	31　歳入の確保と財源の創出

目指す姿

市税や保険料が公正公平に負担されるとともに、新たな財源により歳入を確保できている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 適正課税の推進および収納（徴収）率の向上

公平・公正の観点から市税の適正課税を推進することにより、市民の信頼及び税収の確保を図ります。また、納付環境の利便性向上および納付意欲の向上に向けた取り組みを推進することにより、市税や保険料の収納（徴収）率の向上を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	自主納付推進事業（税）	口座振替やコンビニ納付などの既存の納付方法に加え、キャッシュレス決済などの電子納付環境を整備することで、時間や場所に捉われない納付方法を提供し、納付意欲の向上を図ります。	—
①−2	自主納付推進事業（保険料）	口座振替やコンビニ納付などの既存の納付方法に加え、キャッシュレス決済などの電子納付環境を整備することで、時間や場所に捉われない納付方法を提供し、納付意欲の向上を図ります。	—
①−3	市民税・固定資産税の課税適正化事業	申告催告、実地調査及び関係官署等への照会などを通じて、賦課の公平化・適正化に継続的に取り組みます。	—

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	
市税収納率（現年分）	%	収納済額/収納すべき額	99.05	99.1	99.2	99.3	98.91	99.1			0.0%	[redacted]	財務局 納税促進課
国保料収納率（現年分）	%	収納済額/収納すべき額	93.24	95.0	95.8	96.6	93.45	95.0			0.0%	[redacted]	健康部 保険料収納課

② 財産調査の強化と適正な債権管理

財産調査の徹底により、適正な債権管理を推進します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	滞納整理適正化事業（税）	預貯金や生命保険などの換価可能な財産の調査および消滅時効の管理を行い、差押え・換価・執行停止などを適正に行います。	—
②−2	滞納整理適正化事業（保険料）	預貯金や生命保険などの換価可能な財産の調査および消滅時効の管理を行い、差押え・換価・執行停止などを適正に行います。	—

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	
滞納繰越額の減少率	%	（前年度滞納繰越額－当該年度滞納繰越額）／前年度滞納繰越額	4.7	4.8	4.9	5.0	-0.05	4.8			0.0%	[redacted]	財務局 納税促進課

③ 自主財源の確保

本市への寄附を促進し、財源の確保を図ります。また、受益者負担の適正化やネーミングライツ、企業版ふるさと納税、未利用公有地の活用などの新たな財源確保策を検討します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③−1	ふるさと寄附金事業	地場産品の発掘・企画によりふるさと納税返礼品の拡充を図り、サイト掲載ページの充実や市外へのPR活動を通して、本市への寄附を促進するとともに、本市の魅力を発信します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	
ふるさと寄附金受入額	万円	ふるさと納税による寄附金受入額	5,110	7,000	8,500	10,000	6,010	7,000			0.0%	[redacted]	企画部 企画政策課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課評価（A/B/C）	3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定（成果の方向性・コストの方向性）	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①−1	自主納付推進事業（税） ・ペイジー口座振替の奨励及びスマホ決済やQRコードを活用した電子納付の奨励（HP、広報、広報お知らせ版、各種通知書（18,000枚）への折込） ・コンビニ収納の啓発、コールセンターによる電話催告（9,500件） ・現年度課税分の催告の通知（1,800件）及び差押え等滞納処分の執行（104件）	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	財務局 納税促進課
①−2	自主納付推進事業（保険料） ・各通知書に口座振替の案内文書を同封し口座振替率の向上 ・現年度保険料の滞納者に対し（年2回以上）催告書を送付 ・コールセンターによる迅速な初期滞納者対応 ・月1回（月末）の夜間窓口による納付相談 ・滞納処分の具体的事例を明示した文書を作成し催告書等に同封して送付	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 保険料収納課
①−3	市民税・固定資産税の課税適正化事業 ・市民税（個人及び法人）及び固定資産税（償却資産）未申告者の捕捉及び申告勧奨 ・扶養控除等の申告内容の適正化 ・未評価家屋の解消	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	財務局 税務課
②−1	滞納整理適正化事業（税） ・速やかな財産調査と滞納処分（30,000件） ・適正な分納計画の履行（800件） ・適正な執行停止の遂行（300件）	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	財務局 納税促進課
②−2	滞納整理適正化事業（保険料） ・短期保険証廃止による折衝の機会及び納付の機会の減少を口座振替の推奨によりカバーする ・分納者に対し確実な履行状況管理 ・催告書を用いた滞納者との折衝 ・速やかな財産調査・実態調査を行い、適正な滞納処分の執行	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	健康部 保険料収納課
③−1	ふるさと寄附金事業 ・ふるさと納税協力事業者の新規獲得（令和6年度登録事業者5件増） ・ふるさと納税返礼品の拡充およびブラッシュアップ（令和6年度登録返礼品20件増） ・ふるさと納税（企業版ふるさと納税を含む）のPR （広報誌への掲載（6月）、パンフレットの送付（8月）、返礼品の展示（8月～12月）） ・企業版ふるさと納税のメニュー化（5月）	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	企画部 企画政策課

担当課評価		
A	0	事業
B	0	事業
C	0	事業

成果の方向性			コストの方向性		
拡充	0	事業	拡大	0	事業
現状維持	0	事業	現状維持	0	事業
縮小	0	事業	縮小	0	事業
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画 106-108ページ）

政策名	7　スマートでスリムな行政運営の確立のために。（行政経営）
施策名	32　情報とICTの利活用

目指す姿

ICTを活用し、市民がそれぞれのニーズに合った方法で情報やサービスを利用できている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 市政情報の提供と広報力の強化

市のホームページにおけるアクセシビリティの確保やオープンデータの充実などにより、利用しやすい市政情報の提供に努めます。また、さまざまな情報媒体の活用や効果的な表現による情報発信を積極的に行い、市内外への発信力を強化することで、市のイメージや知名度の向上を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	広報紙発行事業	市民への情報発信媒体として、市政情報や市民のニーズに応じた適切で分かりやすい情報の提供を行い、市の魅力を発信します。	—
①−2	広報及び報道機関連携事業	SNS及びメディアの活用、報道機関への情報提供により、市政情報及び本市の魅力を市内外へ広く発信します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）		
市ホームページ「広報」平均アクセス数	件	市ホームページ「広報紙」ページの一月当たりの平均アクセス数	770	960	1,150	1,340	1,082	960			0.0%		企画部 秘書広報課
SNSのフォロワー数	人	本市が利用するSNSのフォロワー数の合計	284	560	840	1120	484	560			0.0%		企画部 秘書広報課
オープンデータ公開数	件	オープンデータとして公開されているデータ数	0	5	10	14	19	21			0.0%		企画部 ICT推進課

② ICTを活用した業務の効率化・利便性の向上

Society5.0に対応し、さまざまな行政課題の解決に積極的にAIなどのICTを活用し、業務の効率化および利便性の向上を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	ICT活用事業	行政事務や市民サービス等に積極的にICTを利用することで、業務の効率化や市民の利便性の向上を促進します。	—

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）		
電子申請・施設予約利用件数	件	奈良電子自治体共同運営ポータルサイト「e古都なら」による電子申請・施設予約件数	1,423	2,700	3,000	3,300	15,384	15,000			0.0%		企画部 ICT推進課
AIチャットボット利用件数	件	AIチャットボットの利用件数	0	19,000	20,000	21,000	12.799	15.000			0.0%		企画部 ICT推進課

③ 情報セキュリティの確保

ICTを利用した市民サービスや組織内利用システムの安定的な運用のため、組織内の情報機器を不正アクセスやコンピュータウイルス等の脅威から守り、情報ネットワークや職員の使用する情報端末のセキュリティを確保します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③−1	情報セキュリティ対策事業	情報セキュリティに対する職員研修の実施や、セキュリティ対策システムの導入および維持管理などを行います。	—

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			（R1）	R6	R10	R14	（R5）	目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）		
セキュリティインシデント件数	件	セキュリティインシデント発生件数	0	0	0	0	8	0			0.0%		企画部 ICT推進課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課評価（A/B/C）	3視点（必要性・有効性・効率性）	所管判定（成果の方向性・コストの方向性）	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①−1	広報紙発行事業 ・広報かしば、広報かしばお知らせ版を月2回、年23回発行する。（1月号のお知らせ版は広報かしば12月号と合併） ・昨年度実施したアンケート調査の結果を踏まえ、情報発信のあり方を再検討し、具体的な取組を推進する。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	企画部 秘書広報課
①−2	広報及び報道機関連携事業 ・広報紙や市ホームページ、テレビ、SNS（Youtube・X（旧twitter）・Facebook・LINE）など、各種媒体を活用し、市内外へ適時適切かつ魅力的な情報提供を行う。 ・情報発進に携わる市職員一人ひとりの広報意識の醸成と、情報発進能力の向上を図る。 ・各種報道機関へ、報道提供のタイミングも考えた上で、市政情報の積極的な情報提供を行う。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	企画部 秘書広報課
②−1	ICT活用事業 ・電子申請が可能な手続きの拡大。 ・次期電子申請システムの検討。 ・FAQの見直しに伴うAIチャットボットの利便性の向上。 ・窓口の利便性向上。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	企画部 ICT推進課
③−1	情報セキュリティ対策事業 ・全職員の情報セキュリティ研修の受講。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・				【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	企画部 ICT推進課

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画 109-111 ページ）

政策名	7　スマートでスリムな行政運営の確立のために。（行政経営）
施策名	33　行政組織の活性化・組織力の強化

目指す姿

付加価値の高い行政サービスが提供できるよう、職員一人ひとりが知識・技能・意欲の向上に努めている。

SDGs該当分野

5 ジェンダー平等を実現しよう　8 働きがいも経済成長も　16 平和と公正をすべての人に

施策の主な取り組み

① 適正な人事評価

評価基準を充実させ評価者に依存しない評価と昇任等へ反映できる制度を確立し、職員の育成と士気高揚を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	人事評価適正化事業	評価指標の細分化や適正化を進め、公正な人事評価を実現するとともに、これを昇任等に確実に反映します。	—

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
人事評価アンケート調査満足度	%	人事評価アンケートで「良い」「とても良い」と回答した人数／全回答者数（市職員対象）	—	70	80	90	—	70			0.0%		企画部 人事課

② 職員研修の推進

タイムマネジメントやリスクマネジメントの他、法律的素養及び接遇力の向上に重点をおくとともに、時勢に応じて求められる能力の向上に資する研修を実施します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	研修推進事業	個々の職員への重要と思う内容や分野の調査を踏まえた上で、より効果的な研修を企画・実施するとともに、その他必要となる研修の回数・内容の拡充を図ります。	—

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
研修実施回数	回	人事課主催の研修実施回数	10	11	12	12	12	12			0.0%		企画部 人事課

③ 効果的な人員配置

各法令等の制定・改正・廃止等や社会動向を踏まえた上で必要な人員を見定め、正規職員のみならず、各種人的資源を活用し、より効果的・効率的な人員配置を目指します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③−1	超過勤務時間数逓減推進事業	超過勤務の実態把握に努め、適宜、適切となるよう人員の配置を見直します。	—
③−2	ヒアリング調査事業	本人またはその上司・同僚等から職員の不調につながる事案の通報があった場合に、必要と考えられる場合に本人を含む関係人へヒアリング調査を行い、本人へのフォローアップと不調因子の改善、その発生の防止を図ります。	—

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法（指標説明）	計画当初（R1）	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値（R5）	今年度の進捗 目標値	中間値（9月末）	実績値（年度末）	目標達成度（R6年度比）	[redacted]	担当所管
超過勤務時間数	時間	選挙や災害対応を除く超過勤務の総時間数	38,000	37,240	36,100	34,200	64,713	37,240			200.0%		企画部 人事課
メンタルヘルス不調者数	人	メンタルヘルス不調による病気休暇取得者数	7	5	3	0	13	5			350.0%		企画部 人事課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価（A/B/C）	今後の方向性 3視点 必要性	有効性	効率性	所管判定 成果の方向性	コストの方向性	方向性の内容（改善策）※3視点評価の点数（100点満点）が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	人事評価適正化事業	・人事評価の目的（職員の能力開発・人材育成、コミュニケーションによる組織の活性化等）及び公正性の確保の重要性について、全職員に継続して周知を図る。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	企画部 人事課
②−1	研修推進事業	・職員の事務能力や法務能力等の向上を目指し、研究計画に基づき研修を実施していくとともに、研修後に知識の定着度を確認するための効果検証や試験を行う。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	企画部 人事課
③−1	超過勤務時間数逓減推進事業	・1月あたりの超過勤務時間数が80時間を超える職員に定期的にヒアリングを行う。 ・定時退庁日（市役所：水曜日・総合福祉センター：木曜日）の徹底を図るため、原則として勤務時間終了30分経過後に各自の端末が自動的にシャットダウンする設定とし、全庁的な時間外勤務縮減の意識付けを図る。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	企画部 人事課
③−2	ヒアリング調査事業	・働きやすい職場環境の実現のために、高ストレス者に対する面談を産業医と連携を図りながら適宜行うとともに、超過勤務時間の多い職員や所属に対して積極的にヒアリングを行う。	【実績】 ・ ・ 【課題】 ・ ・							【成果の方向性】 ・ ・ 【コストの方向性】 ・ ・	企画部 人事課

担当課評価	
A	0　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	0　事業	現状維持	0　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

施策の方向性（改善策）

次年度の方向性	